令和8年度

橋梁長期保全事業

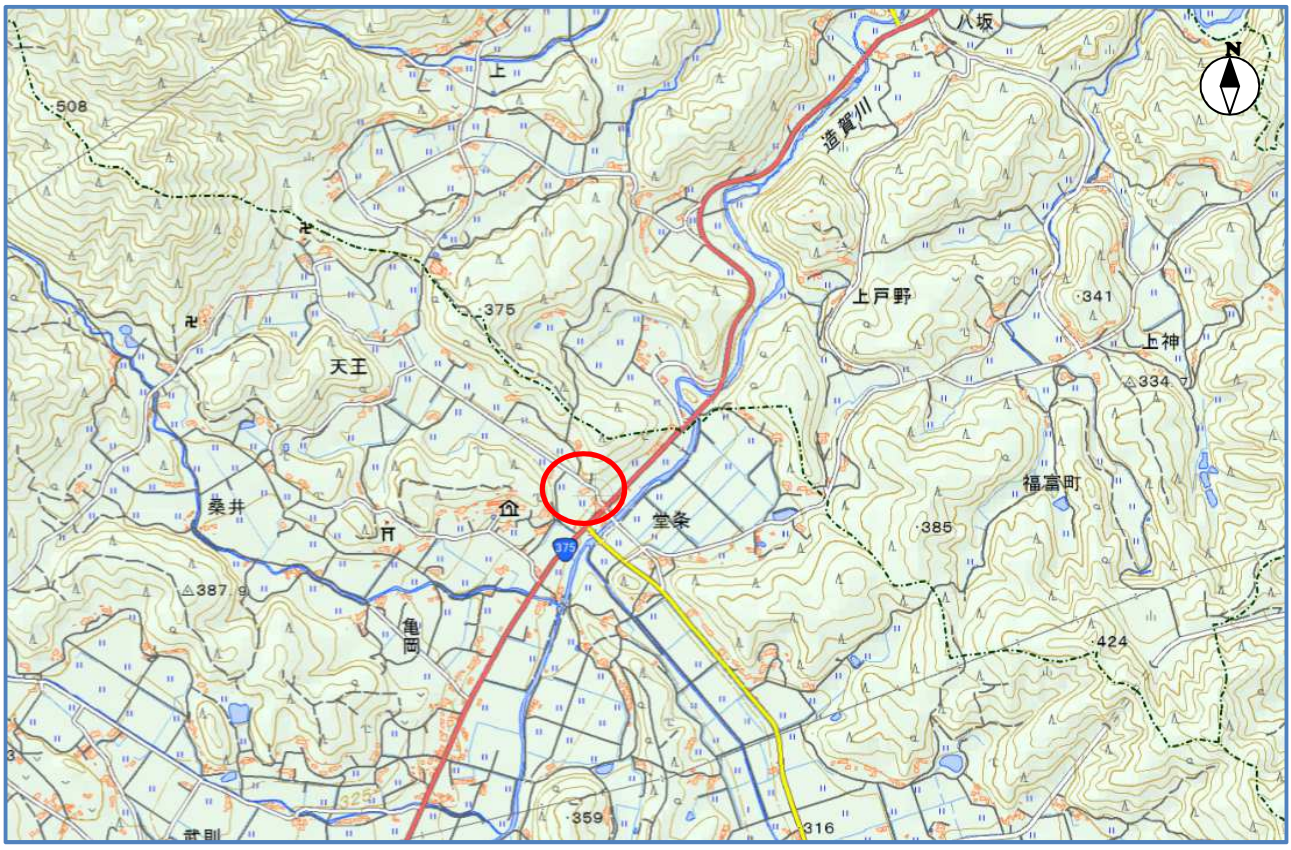
造賀上戸野線1号橋橋梁補修工事

仕様書

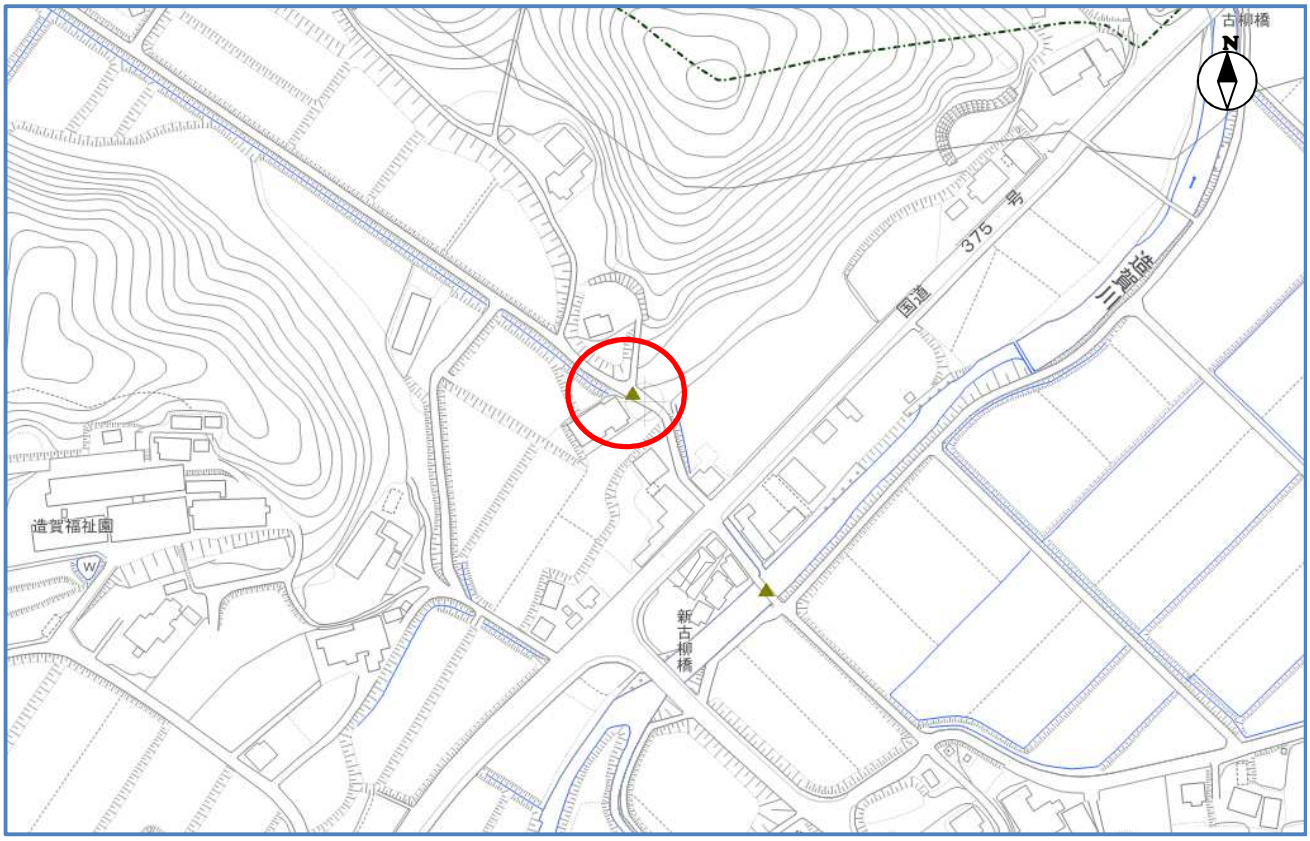
施　工　場　所　　東広島市高屋町造賀

東広島市

橋梁名： 造賀上戸野線1号橋　　町名： 高屋町造賀



詳細図



特　記　仕　様　書

（令和8年度　橋梁長期保全事業　造賀上戸野線1号橋橋梁補修工事）

第1章　総則

1. 適用
2. 前払金
3. 現場代理人の兼務
4. 現場作業終期日
5. 履行報告
6. 官公庁等への手続き等
7. 工事中情報共有システム（受注者希望型）
8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正
9. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について
10. 法定外の労災保険の付保
11. 週休２日適用工事等　週休２日
12. 建設副産物の取り扱いについて
13. 猛暑時間の施工回避
14. 猛暑日等を考慮した工期延長について
15. 熱中症による健康障害発生時の対応計画

第2章　施工条件

1. 安全対策
   (1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
2. 建設副産物
   (1) 建設発生土（建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地への搬出）
   (2) コンクリート殻（無筋）(搬出)
   (3) アスファルト殻(搬出)

第3章　施工管理

1. 品質管理
   (1) 断面修復工

第4章　その他

1. 工事関係書類
2. 工事写真
3. 疑義の解決等

特　記　仕　様　書

第1章　総則

1.　適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和８年８月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）」及び東広島市制定の第15編下水道編(最新版)に基づいて実施しなければならない。

この場合においては、次のとおりとする。

(1)　「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替える。(ただし、第1編第1章第1節1-1-1-27第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。)

(2)　「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。

(3)　「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。

(4)　「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。

(5)　「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。

(6)　「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。

(7)　「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」」と読み替える。

(8)　「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。

(9)　「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。

(10) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と「建設業者等指名除外要綱別表第18号」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱別表第22号」と読み替える。

(11)　「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。

(12)　「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。

(13) その他

編	章	節	条	見　出　し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から[7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	6	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2.　前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにあっては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

・建設工事請負代金前金払実施要領
・建設工事請負代金中間前金払実施要領
・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3. 現場代理人の兼務

1 現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

2 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。

3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。

⑴ 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
⑵ 兼務を承認した日から起算して14日(東広島市の休日を定める条例(平成元年東広島市条例第６号)第１条第１項に規定する市の休日を除く。)を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
⑶ 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
⑷ 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
⑸ 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
⑹ その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき

4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。

※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあっては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあっては平成17年2月7日前の町の区域とする。

4. 現場作業終期日

本工事の施工に当たっては、工期末の30日前までに、下記の作業を終了しなければならない。

なお、現場作業終期日までに適時、速やかに「土木工事共通仕様書（令和８年８月）広島版」第1編1-1-1-24第2項第3号に記載してある出来高が確認できる資料を監督職員に提出しなければならない。

5. 履行報告

履行報告の提出にあたっては、実施工程表と平面図（施工済み箇所を着色）又は、進捗状況が確認できる写真を添付すること。なお、月締め報告とし、翌月７日までに提出すること。

6. 官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面(写し)を提出するものとし、更新手続き(許可内容が同じもの)の場合は、届出等の鑑のみとする。

7.　工事中情報共有システム（受注者希望型）

（1）本工事は、工事中情報共有システムの対象（受注者希望型）である。

（2）工事中情報共有システムを利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。

（3）本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。

広島県工事中情報共有システム（一般社団法人　広島県土木協会）

http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html

（4）工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。

（5）利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領」に基づくこと。

（6）運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。

この場合においては、次のとおりとする。

1）「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規程（広島県）」および「土木工事監督実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規程（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と、「土木工事検査技術基準（広島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。

2）「CAD製図基準（国土交通省）」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。

3）「4.検査」は適用しない。

4）検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。

5）受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

8.　熱中症対策に資する現場管理費の補正

（1）　本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。

（2）　工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。）、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。

（3）　真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。

ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数　(WBGT) を対象とする。

（4）　気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。

（5）　受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。

（6）　受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。

（7）　積算方法は次のとおりとする。

1）補正方法

ア　受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正値を合計し、2%を上限とする。

イ　真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期

ウ　補正値（%）＝真夏日率×1.2

2）補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。

（8）　受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。

（9）　検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

9.　主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

東広島市発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

10.　法定外の労災保険の付保

1　本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

2　受注者は、建設工事請負契約約款第４７条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。

3　法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

11.　週休２日適用工事等　週休２日

本工事は、週休２日適用工事（発注者指定型）であり、「東広島市週休２日適用工事等実施要領（最新版）」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要のある様式「休日取得計画表」は「検査課HP＞施工関連資料＞週休２日適用工事等の実施について」に掲載している。

12.　建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1　再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（５の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2　計画の掲示及び公表

受注者は、１の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3　実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から５年間保存しなければならない。

4　工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5　建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m3以上の工事を対象とする。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第３条第７項又は第４条第１項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第１項、第16条第１項、第30条第１項又は第35条第１項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第１項、第27条第１項、第28条第１項又は第40条第１項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6　運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7　確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8　確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後５年間保存するものとする。

9　建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

(1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地

(2) 建設発生土の搬出先の受注者の商号、名称又は氏名

(3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地

(4) 建設発生土の搬出量

(5) 建設発生土の搬出が完了した日

10　建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11　受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12　受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後５年間保存するものとする。

13　建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する９（1）～（5）に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後５年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

(1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合

(2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合

(3) ストックヤード運営事業者登録規定により国に登録されたストックヤード

(4) ９の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

13.　猛暑時間の施工回避

１　本工事は、現場環境に応じて猛暑時間帯の現場作業を回避し、作業の開始時間や終了時間を発注者と協議し設定できる工事である。

２　実施方法は次のとおりとする。

(1)　内容

ア　受注者は、現場環境に応じて猛暑時間帯の現場作業を回避し、作業の開始時間や終了時間を監督職員と協議し設定できる。

イ　作業時間を短縮した場合は、短縮時間に応じて、工期を延長することができるものとする。

ウ　工事における現地の立会等については、監督職員の勤務時間に合わせるものとする。

エ　対象期間は、６月１日から９月３０日までとする。

(2)　工期延長日数の算出方法

工期の延長日数※1(日)＝短縮時間(時間)×対象期間※2(日)÷８(時間)

なお、猛暑日等による作業不能日とは、別に考慮できるものとする。

※１　小数第１位を切り上げるものとする。

※２　現場閉所日を含む。

３　作業時間の変更に伴う工事費の増額については、設計変更の対象としない。

14.　猛暑日等を考慮した工期延長について

１　本工事は、工期に「猛暑日等による作業不能日」として、休日(土日、祝日、年末年始休暇及び夏期休暇)、降雨降雪日及び猛暑日日数を9日見込んでいる。

「猛暑日等による作業不能日」＝施工に必要な実日数×雨休率

雨休率(休日、降雨降雪日及び猛暑日日数による作業不能日を見込むための係数)：　0.78

雨休率に見込んでいる作業不能日は、次のとおりである。(過去５年間の気象庁及び環境省のデータより年間の平均発生日数を算出)

(1)　１日の降雨・降雪量が10㎜/日以上の日：　31日/年

(2)　８時から１７時までのWBGT値が31以上の時間を足し合わせた日数：　5日/年

２　・著しい悪天候や気象状況より「猛暑日等による作業不能日」が当初見込んでいる日数と著しく乖離し、かつ作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は監督職員へ工期の延長変更を協議することができる。

・受注者は、協議の際に気象庁及び環境省の計測データ等を監督職員へ提出すること。計測データは、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所及び環境省が公表している観測地点を用いることを標準とする。

なお、提出する必要のある様式「猛暑日等による作業不能日算出表」は「広島県の調達情報HP＞公共工事等の情報_様式集＞建設工事関係_その他契約関係様式」に掲載している。

・費用は、工期延長日数に応じて「工事における工期の延長等に伴う増加費用の積算」(土木工事標準積算基準書(共通編)第Ⅰ編総則 第９章)に基づき増加費用を積算し、変更契約において計上する。

15.　熱中症による健康障害発生時の対応計画

1　猛暑による厳しい環境下での現場作業※が見込まれる工事を対象とする。

※WBGT28度以上又は気温31度以上の環境下で、連続１時間以上又は１日４時間を超える作業

2　受注者は、熱中症のおそれがある労働者を把握した場合に、迅速かつ的確な判断ができるよう、「緊急連絡網、緊急搬送先の連絡先や所在地」及び「作業離脱、身体冷却、医療機関への搬送等の熱中症による重篤化を防止するために必要な措置の実施手順」などを施工計画書の「緊急時の体制及び対応」項目に記載するとともに、工事関係者へ周知すること。

第2章　施工条件

1.　安全対策

(1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員　・交通誘導警備員の配置人数は、工事着手後、規制を要する日から3日間(2人／日)を見込んでいる。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の人数変更が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

2.　建設副産物

(1) 建設発生土（建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地への搬出）

当該工事により発生する建設発生土は、広島県制定の建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地に搬出するものとする。

また、積算上の搬出先として、建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる次の施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、広島県制定の建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。

ただし、災害復旧工事において、市が公募により決定した「災害発生土民間受入先」と受入について土質や搬出スケジュール等の協議が整えば、搬出先を「災害発生土民間受入先」に変更する場合がある。

当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離

土砂

（名称）　株式会社大地リサイクルセンター第3処分場

（所在地）　東広島市河内町戸野字荏田5861

（運搬距離）　3.5ｋｍ

(2) コンクリート殻（無筋）(搬出)

当該工事により発生するコンクリート殻（無筋）は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は　13.0ｋｍ　を見込んでいる。

(3) アスファルト殻(搬出)

当該工事により発生するアスファルト殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は　8.7ｋｍ　を見込んでいる。

第3章　施工管理

1.　品質管理

(1) 断面修復工

本工事において、断面修復工の品質管理は下記のとおり行うこと。

試験項目	試験方法	規格値	測定箇所	摘　要
引張強度試験		1.5N/mm2	供試体	

第4章　その他

1.　工事関係書類

⑴ 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領 -土木工事編-によるものとする。

⑵ 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2.　工事写真

工事写真の撮影に当っては、広島県制定「写真管理基準（令和８年８月）」によるものとし、納品に当っては、電子媒体又は紙媒体、情報共有システム登録のいずれかとする。

なお、電子納品物は「広島県電子納品実施要領」に準拠し、作成すること。

3.　疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

特記仕様書（中東情勢の変化による建設資材の流通状況を踏まえた設計変更について）

１　本工事は、供給の偏りや流通の目詰まりにより入手が困難となっているナフサを由来とする建設資材（以下、「調達検討資材」という）の調達に必要となる経費（以下、「別途調達経費」という）について、設計変更により計上できる工事である。

２　調達検討資材

ナフサを由来とする主要な建設資材の一覧

資材カテゴリ	主成分・性質
ジオテキスタイル	ＰＰ、ＰＥＴ
防草シート	ＰＰ、ＰＥＴ
排水材・フィルター	ＰＰ、ＰＥＴ
パイプ・配線管	塩ビ、ＰＥ、ＰＰ
ケーブル・配線管	塩ビ、ＰＥ
接着剤	ポリウレタン、エポキシ樹脂
塗料・シンナー	トルエン・キシレン等
止水材・シーリング材	ポリウレタン、アクリル
防水シート（トンネル）	塩ビ、合成ゴム
コンクリート混和材	ポリカルボン酸エーテル
仮設資材（ブルーシート、土のう）	ＰＥ、ＰＰ、ＰＶＣ
断熱材	ポリウレタン、ポリスチレン

※代表的なナフサ由来の資材の一例であり、この一覧にない場合でも協議することができる。
ただし、ナフサ由来の資材であることを確認すること。

３　内容

（１）　受注者は、調達検討資材について、別途調達経費が必要となる場合には、事前に「(様式１) 調達検討資材に関する協議書」を提出し、監督職員と協議するものとする。ただし、調達検討資材を直ちに購入契約する必要がある等、迅速な対応が求められる場合には、口頭、電子メールなどで協議することも可能とするが、事後、遅滞なく書面により協議するものとする。

なお、別途調達経費が必要となる場合とは、次のとおり想定している。

①　調達検討資材の代替資材を調達した場合
（例：塩化ビニル管を鉄管やコンクリート管に変更して施工する場合）

②　調達検討資材の流通経路を見直して調達した場合
（例：通常より遠方から調達する必要があり、運搬費が追加で必要な場合）

③　調達検討資材を調達した場合（ただし別途調達経費を含む）
（例：通常より調達ロットを小さくせざるを得なくなり、単価が高くなる場合）

（２）　受注者は、設計変更に際し、「(様式２）調達検討資材に関する実施報告書」及び実際の取引伝票、請求書等（調達時期、購入数量、購入単価が記載された資料）を監督職員に提出すること。

（３）　妥当性が確認された別途調達経費については、設計変更の対象とする。ただし、受注者の責めに帰すべき事由により生じた増加費用については、設計変更の対象としない。

（４）　受注者は、代替資材を調達する場合には、当該代替資材が設計図書で求める機能や品質等を満足していることが確認できる資料（カタログ等）を作成し、監督職員に提出しなければならない。

※ 様式については、契約課ホームページに掲載

4　積算方法

（1）　設計変更は、精算変更時（指定部分がある場合には、その指定部分の精算変更時）に行うことを基本とする。

（2）　設計変更を行う対象数量の考え方は、次のとおりとする。

既済部分について出来高部分払いを行っている場合は、当該既済部分払いの対象となった出来高部分に係る数量を除いた数量を設計数量とする。

証明された数量と対象数量の考え方
証明数量＜設計図書の数量 → 設計変更不可。 設計図書の数量≦証明数量≦設計数量 → 設計変更可。対象数量は証明数量 設計数量＜証明数量 → 設計変更可。対象数量は設計数量 （設計図書の数量：設計図書（数量総括表や図面等）に記載されている数量 設計数量：設計図書の数量にロスを加えた数量（積算上の数量） 証明数量：受注者から証明された数量）

※精算変更見込み数量を考慮すること。

換算値などを用いて明示した調達数量については、受発注者間で合意した換算値等や実際の使用量などを基に、受発注者間で協議して最終的な設計数量を決定すること。

（3）　設計変更に用いる単価は、実際の取引伝票、請求書等で確認出来た実際の購入価格とする。

（4）　別途調達経費は、直接工事費に計上するものとする。

材料費が個別に設定されている場合は、実際の購入価格に入れ替えて設計変更を行うこと。土木工事標準単価など材料費が分離できない場合は、調達検討資材の当初積算時点での実勢価格（物価資料等）と実際の購入価格の差分を計上して設計変更を行うこと。なお、当初積算時点の実勢価格（物価資料等）が掲載されていない場合は、受注者に当初積算時点の取引価格を確認の上、差分を算出すること。

（5）　本運用に基づく設計変更内容は、建設工事請負契約約款第 25 条（スライド条項）の対象外とする。

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
橋梁保全工事		式		1	レベル1
道路土工		式		1	レベル2
掘削工		式		1	レベル3
掘削	土砂 上記以外(小規模) 標準以外	m3		1	レベル4
残土処理工		式		1	レベル3
土砂等運搬	小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	式		1	レベル4
残土等処分		式		1	レベル4
舗装工		式		1	レベル2
舗装打換え工		式		1	レベル3
舗装版切断	アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	式		1	レベル4
舗装版破砕	アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	m2		69	レベル4
下層路盤	全仕上り厚376mm 2層施工 RC-30	m2		0.7	レベル4
上層路盤	全仕上り厚150mm 1層施工 RM-30	m2		0.7	レベル4
基層（上流側）	再生粗粒アスコン(20)　瀝青材無し 1層当り平均仕上厚50mm	m2		14	レベル4
表層（上流側）	再生密粒アスコン(20)　PK-4 1層当り平均仕上厚50mm	m2		14	レベル4
表層（下流側）	再生密粒アスコン(20)　瀝青材無し 1層当り平均仕上厚50mm	m2		30	レベル4
表層（土工部）	再生密粒アスコン(20)　PK-3 1層当り平均仕上厚40mm	m2		41	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
橋面工		式		1	レベル2
橋面防水工		式		1	レベル3
橋面防水	アスファルト系	m2		39	レベル4
排水用導水管	φ18㎜ ステンレス製	m		41	レベル4
橋梁付属物工		式		1	レベル2
伸縮継手工		式		1	レベル3
伸縮目地補修工		m		29	レベル4
排水施設工		式		1	レベル3
排水管	ＶＰ一般 ５０Ａ	m		2	レベル4
水切り工		式		1	レベル3
水切り工		m		12	レベル4
橋梁補修工		式		1	レベル2
断面修復工		式		1	レベル3
吹付工法		m2		43	レベル4
表面含浸工		式		1	レベル3
下地処理工	サンダーケレン・高圧洗浄	m2		12	レベル4
表面含浸材塗布工	ケイ酸塩系ナトリウム含浸材 スーパーシールド工法相当品	m2		12	レベル4
小口止め工		式		1	レベル3

工事数量総括表

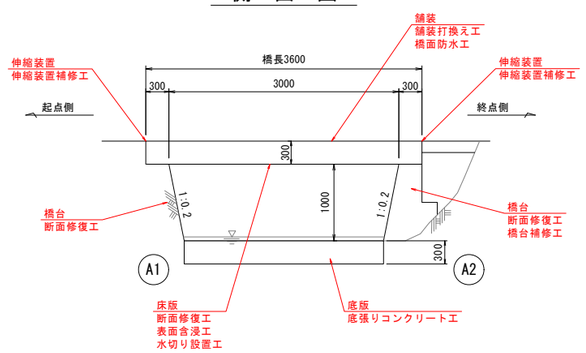
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
小口止コンクリート	18-8-40BB 一般養生	m3		0.3	レベル4
型枠	一般型枠 小型構造物	式		1	レベル4
モルタル充てん工		式		1	レベル3
モルタル充てん工	無収縮モルタル	m3		0.2	レベル4
型枠	一般型枠 小型構造物	式		1	レベル4
底張コンクリート工		式		1	レベル2
底張コンクリート工		式		1	レベル3
基面整正		式		1	レベル4
コンクリート	小型構造物 18-8-40BB	m3		8	レベル4
構造物撤去工		式		1	レベル2
構造物取壊し工		式		1	レベル3
コンクリート構造物取壊し	人力施工(コンクリートブレーカ)	m3		8	レベル4
運搬処理工		式		1	レベル3
殻運搬	Co(無筋)構造物とりこわし	m3		10	レベル4
殻運搬	舗装版破砕	m3		3	レベル4
殻処分	無筋構造物	t		25	レベル4
殻処分	舗装版破砕	t		7	レベル4
仮設工		式		1	レベル2

工事数量総括表

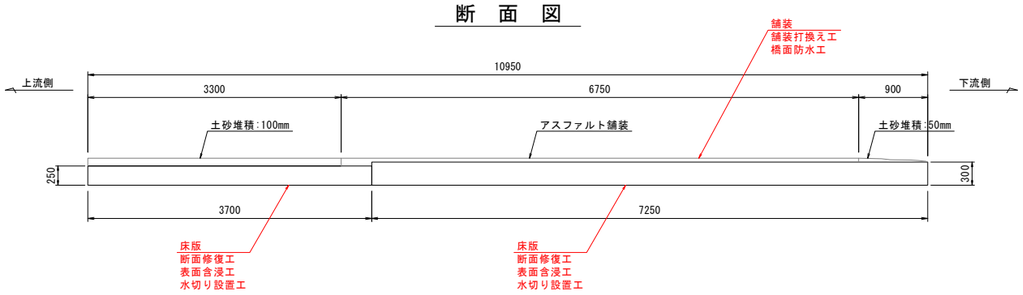
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
仮水路工		式		1	レベル3
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		人		6	レベル4
＊＊直接工事費＊＊					
共通仮設費率分					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費					
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊					
＊＊工事費計＊＊					
＊＊契約保証費計＊＊					

造賀上戸野線1号橋　補修一般図　S=1:40

側　面　図

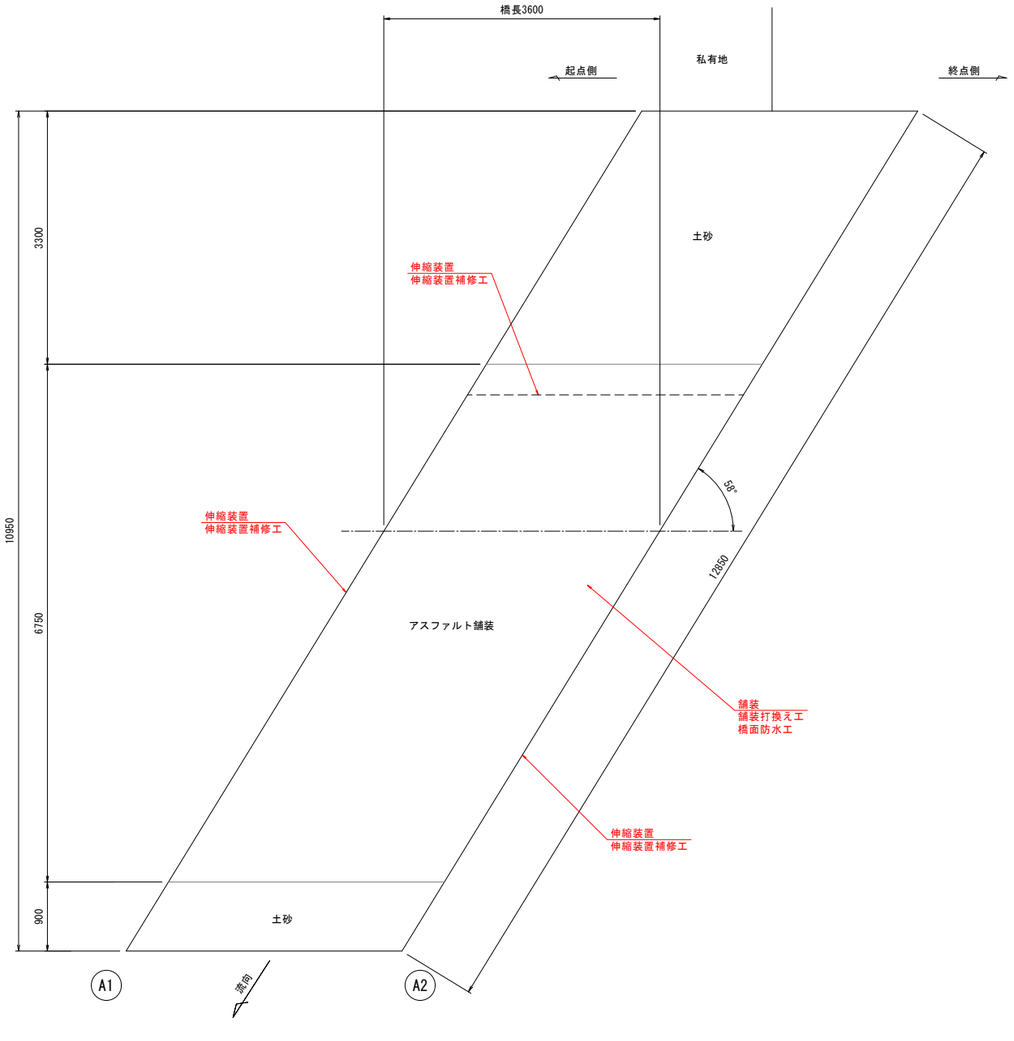


断　面　図

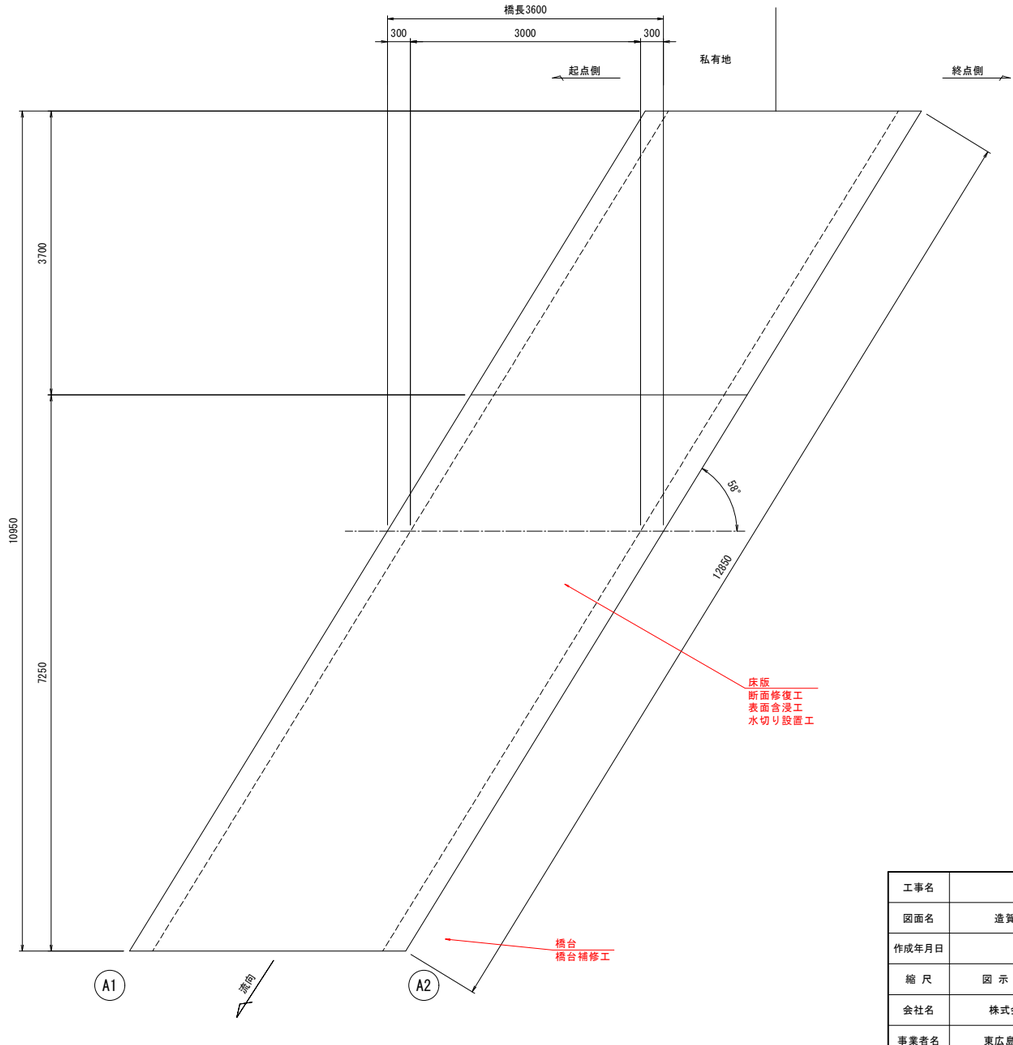


平　面　図

橋　面



桁下面

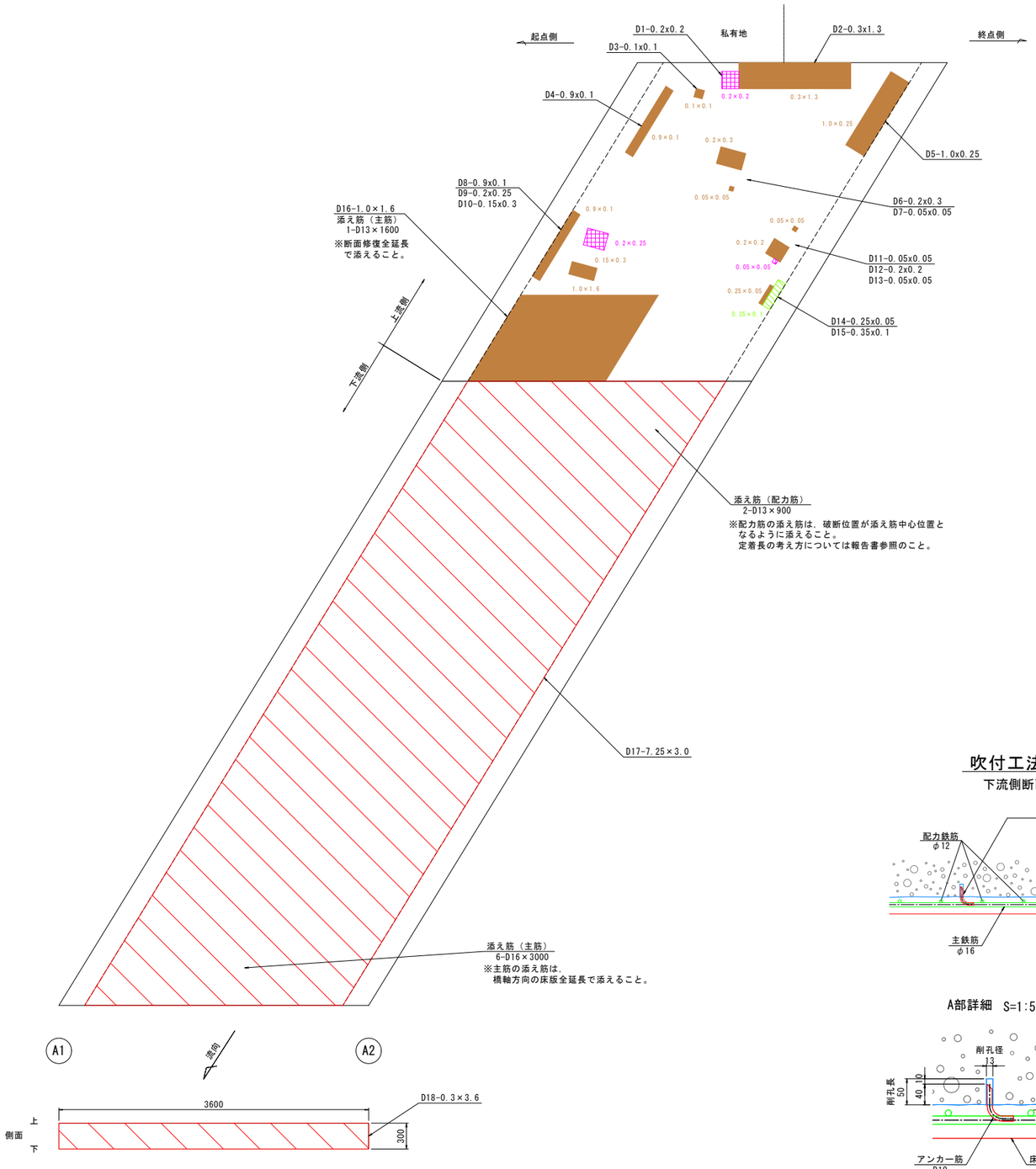


工事名			
図面名	造賀上戸野線1号橋　補修一般図		
作成年月日	令和 7 年 10 月		
縮 尺	図 示	図面番号	1 / 10
会社名	株式会社 荒谷建設コンサルタント		
事業者名	東広島市 建設部 維持課 市道保全係		

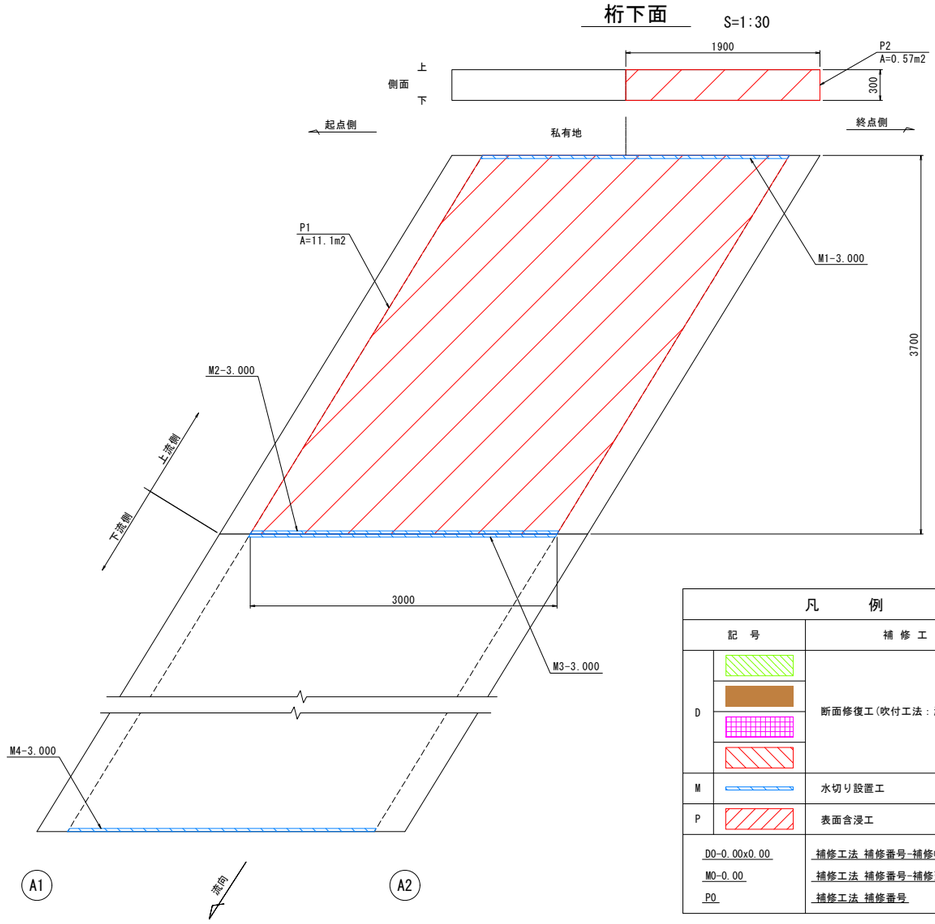
造賀上戸野線1号橋　補修図(その1)

断面修復工，表面含浸工，水切り設置工

桁下面　S=1:30

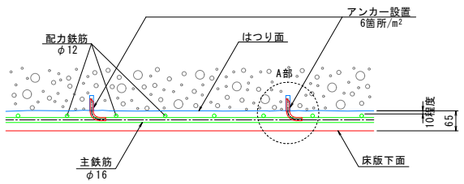


桁下面　S=1:30



吹付工法　断面図　S=1:10

下流側断面修復範囲



A部詳細　S=1:5



アンカー筋 D10x100（SD295）
アンカー筋は、6箇所/m²とする。

凡　例		
記　号		補 修 工
D		断面修復工(吹付工法：湿式)
M		水切り設置工
P		表面含浸工
D0-0.00x0.00		補修工法 補修番号-補修幅x補修幅
M0-0.00		補修工法 補修番号-補修延長
P0		補修工法 補修番号

※　本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
※　部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※　土砂堆積，植生，鳥の巣，ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※　取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
※　可能な限り清掃を行い、場合によっては高圧洗浄等を行うこと。
※　はつり深さは、以下の様に想定する。
　上流側：奥側鉄筋径9mm＋純かぶり20.5mm＋10mm≒40mm
　下流側：奥側鉄筋径12mm＋純かぶり40mm＋10mm≒65mm
※　断面修復（D16）では、主筋方向の既設鉄筋1本が破断しているため、添え筋を行うこと。
※　断面修復（D17）では、主筋方向の既設鉄筋6本、配力筋方向の既設鉄筋2本が
　が破断しているため，添え筋を行うこと。
※　施工時には鉄筋破断の有無を確認し、破断箇所へは添え筋を行うこと。
※　吹付けはポリマーセメントモルタルの所定の流動性状を確認し、施工すること。
※　吹付け施工は所定の技能能力を有するノズルマンが行うことを標準とする。
※　1回の最大吹付け厚さは天井面で30mm程度とし、2層以上に積層して施工すること。
※　下流側既設床版はつり時は既設鉄筋が下がってくるため、段取り筋（アンカー筋）
　を設置すること。
※　表面保護材はケイ酸塩系表面含浸材とする。
※　標準塗布量：0.3L/m²（1回目0.15L/m²，2回目0.15L/m²）とすること。

工事名			
図面名	造賀上戸野線1号橋　補修図(その1)		
作成年月日	令和 7 年 10 月		
縮 尺	図 示	図面番号	2 / 10
会社名	株式会社 荒谷建設コンサルタント		
事業者名	東広島市 建設部 維持課 市道保全係		

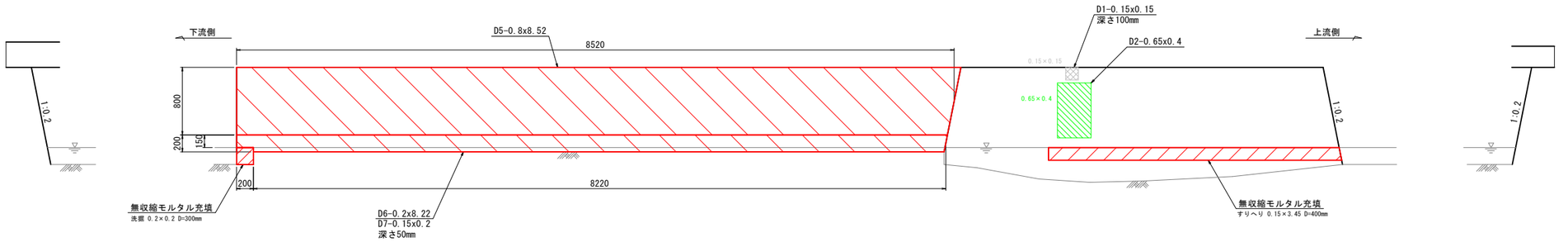
造賀上戸野線1号橋　補修図(その2)

S=1:30

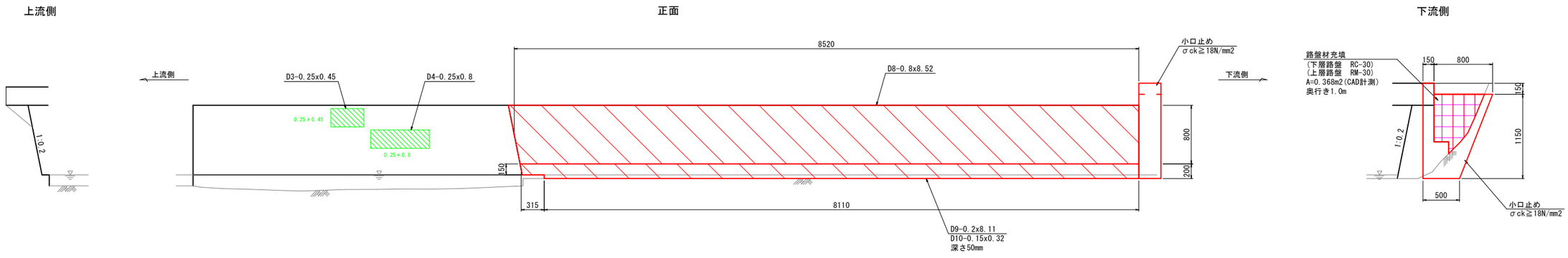
断面修復工，橋台補修工

凡　例		
記　号		補 修 工
D		断面修復工(吹付工法：湿式)
V		コンクリート充填工
D0-0.00x0.00		補修工法 補修番号-補修幅x補修幅

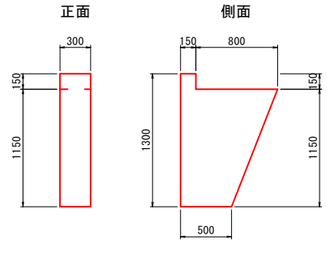
A1橋台



A2橋台



橋台補修工詳細図
（小口止め工）



※　本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
※　部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※　土砂堆積，植生，鳥の巣，ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※　取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
※　可能な限り清掃を行い、場合によっては高圧洗浄等を行うこと。
※　はつり深さは、特記無きものは30mmとする。
※　吹付けはポリマーセメントモルタルの所定の流動性状を確認し、施工すること。
※　吹付け施工は所定の技能能力を有するノズルマンが行うことを標準とする。
※　1回の最大吹付け厚さは壁面で50mm程度とし、最大吹付厚を越えるような場合には、2層以上に積層して施工すること。
※　舗装工に先立って，橋台補修工及び路盤材充填を行うこと。

工事名			
図面名	造賀上戸野線1号橋　補修図(その2)		
作成年月日	令和 7 年 10 月		
縮 尺	図 示	図面番号	3 / 10
会社名	株式会社 荒谷建設コンサルタント		
事業者名	東広島市 建設部 維持課 市道保全係		

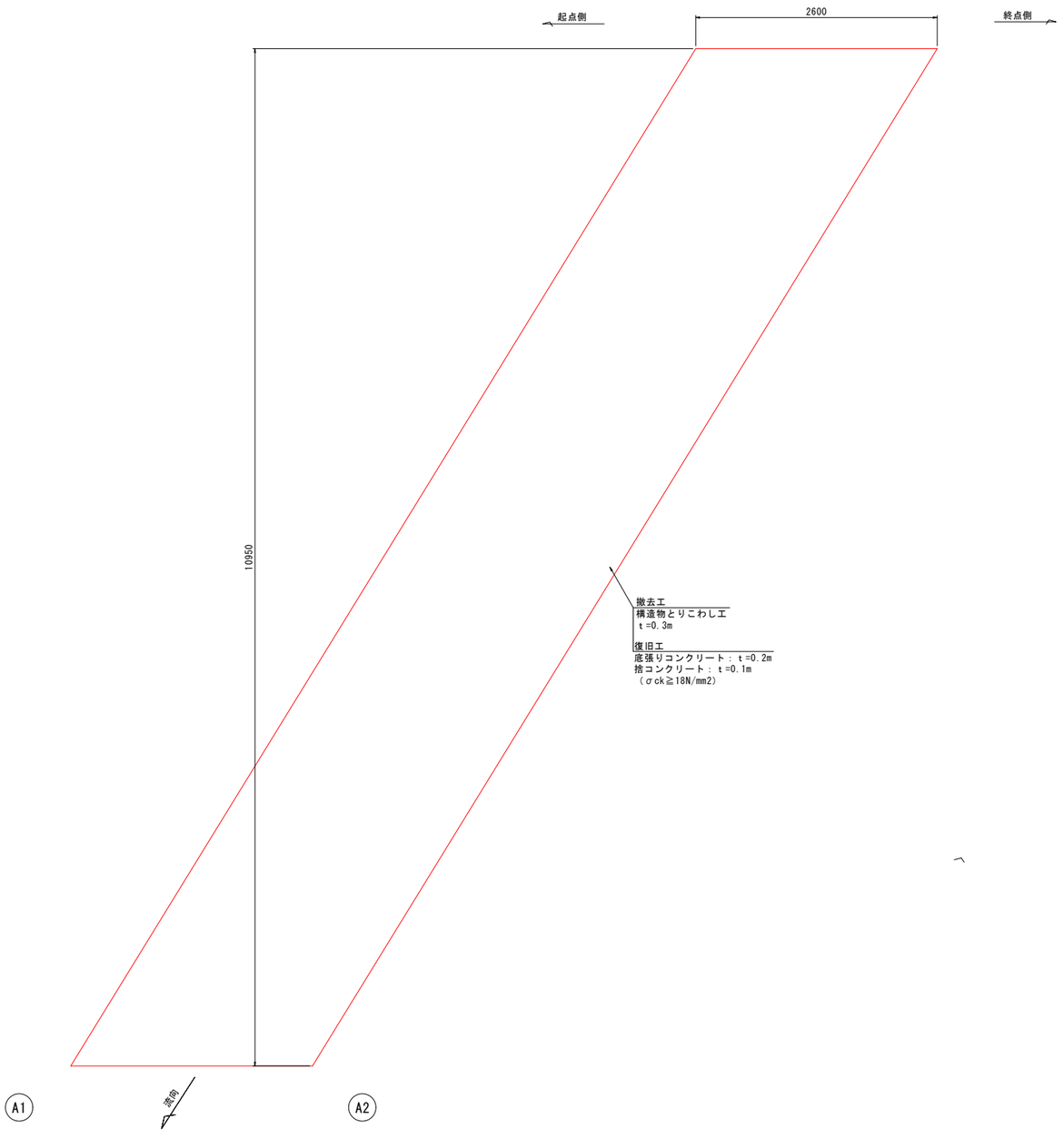
造賀上戸野線1号橋　補修図(その3)

S=1:30

底張りコンクリートエ

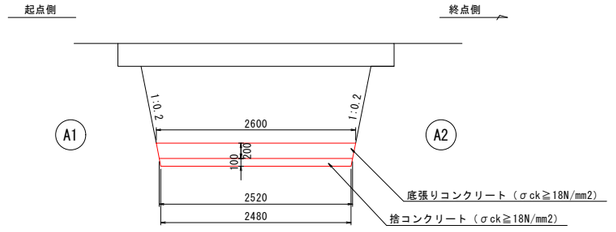
底　版

撤去・復旧工



復旧断面図

S=1:40



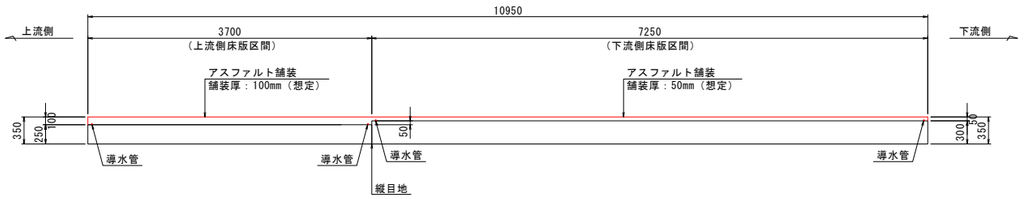
※　本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
※　部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※　土砂堆積，植生，鳥の巣，ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※　取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
※　可能な限り清掃を行い、場合によっては高圧洗浄等を行うこと。
※　既設底版厚さ（0.3m）は推定であるため，現場にて撤去数量を確認すること。

工事名			
図面名	造賀上戸野線1号橋　補修図(その3)		
作成年月日	令和 7 年 10 月		
縮 尺	図 示	図面番号	4 / 10
会社名	株式会社 荒谷建設コンサルタント		
事業者名	東広島市 建設部 維持課 市道保全係		

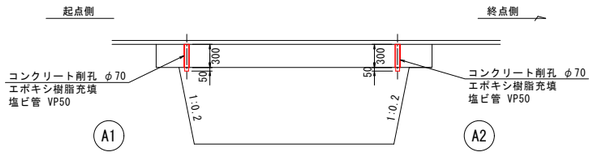
造賀上戸野線1号橋　補修図(その4)

橋面防水工，舗装工

断　面　図　S=1:40

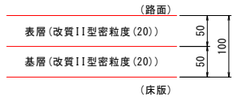


側　面　図　S=1:40

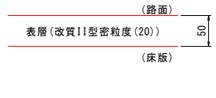


舗装詳細図 S=1:5

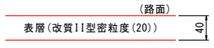
橋梁部（上流側床版区間）



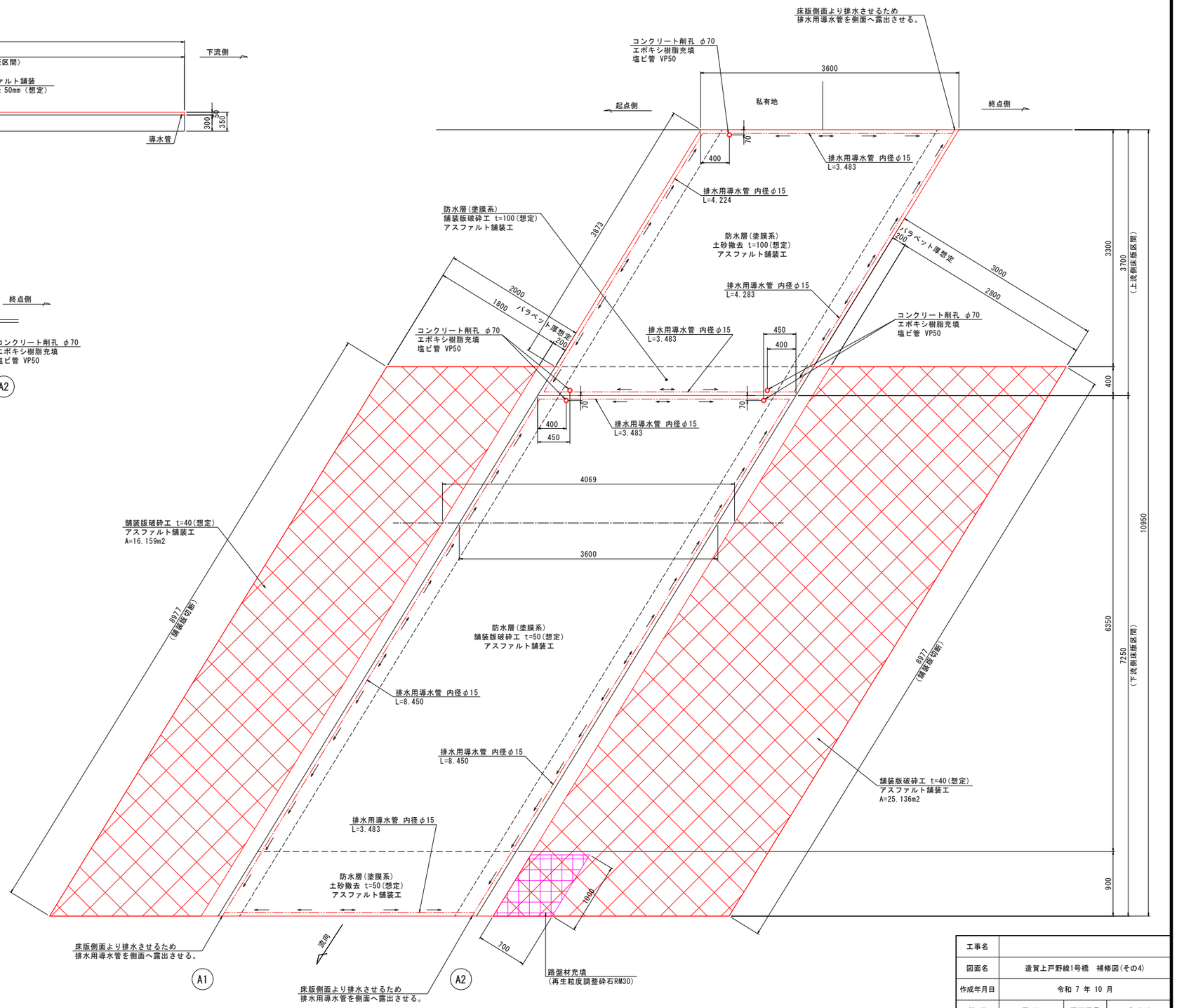
橋梁部（下流側床版区間）



土工部



橋　面　S=1:30



施工フロー図

伸縮装置補修工　橋面防水工及び舗装工に先立って実施

↓

路盤材充填工　橋面防水工及び舗装工に先立って路盤材充填を実施する。（補修図(その2)参照）

↓

橋面防水工　防水層塗布後にクラック抑制シートを設置

↓

舗　装　工

※　本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
※　部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※　土砂堆積，植生，鳥の巣，ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※　取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
※　可能な限り清掃を行い、場合によっては高圧洗浄等を行うこと。
※　舗装版取壊しを行う際は，床版等を破損しないように注意すること。
※　コンクリートを削孔する際には，既設鉄筋に損傷を与えないように，事前に鉄筋探査を実施し削孔位置を決定すること。
※　既設舗装撤去後に床版上面に不陸が見られる場合は，モルタル等で不陸整正を行うこと
※　床版上面に損傷(うきや剥離等)が見られる場合には，ポリマーセメントモルタルにより断面修復を行うこと。
※　気温5℃以下では施工しないこと。
※　排水勾配が逆勾配となる箇所については，施工時に排水勾配を設けること。

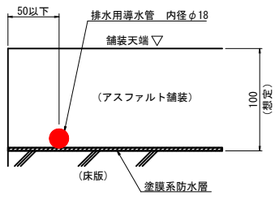
工事名			
図面名	造賀上戸野線1号橋　補修図(その4)		
作成年月日	令和 7 年 10 月		
縮　尺	図 示	図面番号	5 / 10
会社名	株式会社 荒谷建設コンサルタント		
事業者名	東広島市 建設部 維持課 市道保全係		

造賀上戸野線1号橋　補修図(その5)

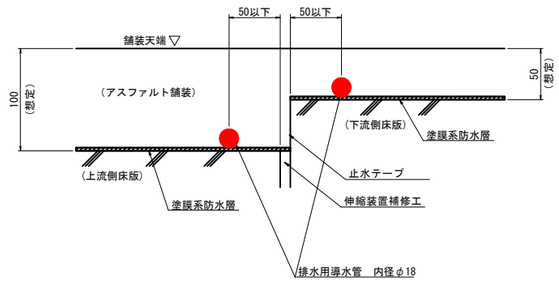
橋面防水工，舗装工

縦断排水部詳細図 S=1:3

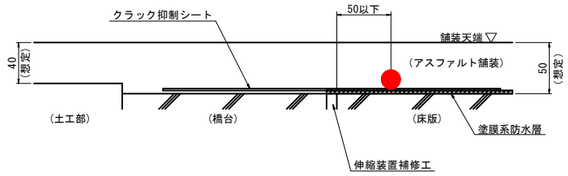
（床版端部）



（縦目地部）

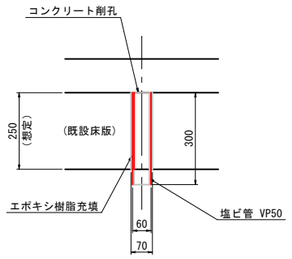


横断排水部詳細図 S=1:3

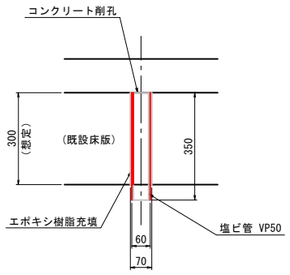


削孔部詳細図 S=1:10

（上流側床版）



（下流側床版）



路面撤去工数量表

（1橋当り）

名　称	規　格	単位	数 量	備　考
舗装切断	アスファルト舗装，t=4cm（想定）	m	17.954	
舗装版破砕	アスファルト舗装，t=4cm（想定）	m^2	41.295	アスファルト舗装(土工部)
	アスファルト舗装，平均t=10cm（想定）	m^2	1.628	アスファルト舗装(橋梁部)
	アスファルト舗装，平均t=5cm（想定）	m^2	25.838	アスファルト舗装(橋梁部)
土砂撤去	平均t=5cm（想定），平均t=10cm（想定）	m^2	1.371	土砂堆積(橋梁部)
殻運搬	土砂	m^2	1.371	
	アスファルト殻	m^2	3.107	
殻処分	がれき類	m^2	3.107	

橋面防水工数量表

（1橋当り）

名　称	規　格	単位	数 量	備　考
橋面防水	塗膜系防水層	m^2	39.420	アスファルト加熱型
ドレーン材	排水用導水管　φ18	m	39.339	
止水テープ	L型止水テープ	m	3.600	
塩ビ管	VP50	m	1.600	L= 0.300 x 3 + 0.350 x 2
充填材	エポキシ樹脂系	kg	1.654	比重=1,200kg/m^3
鉄筋探査	下向き　0.5m×0.5m程度	m^2	1.250	W= 0.5 x 0.5 x 5
コンクリート削孔	コンクリート穿孔機　φ70×250，300	孔	4	L= 0.250x3+0.300x2 = 1.350

アスファルト舗装工数量表

（1橋当り）

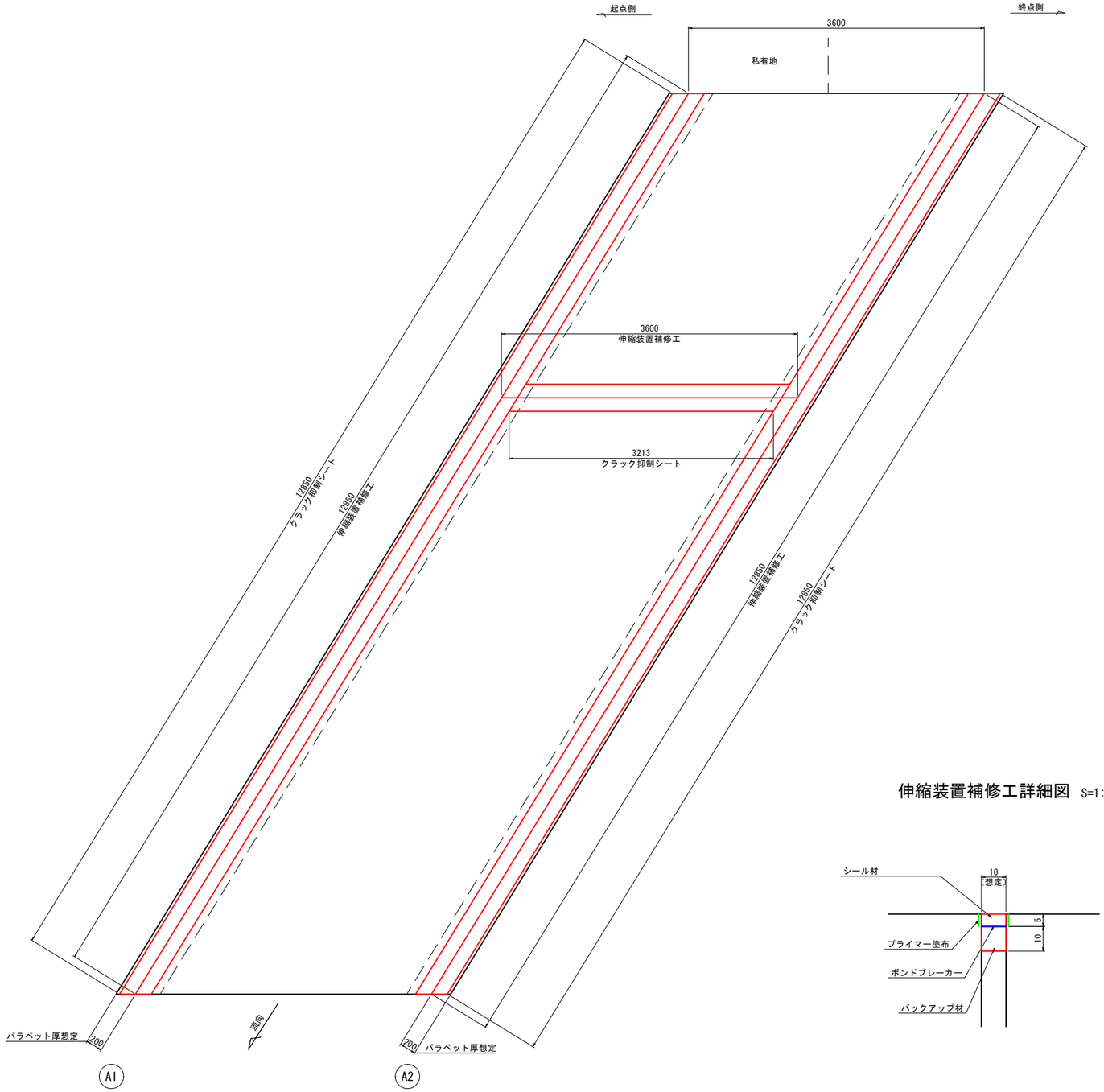
名　称	規　格	単位	数 量	備　考
上層路盤（土工部）	再生粒度調整砕石RM30 平均t=15cm（想定）	m^2	0.700	平均幅員 1m V=0.368m3（土工部空洞部充填）
下層路盤（土工部）	再生砕石RC30 平均t=37.6cm（想定）	m^2	0.700	平均幅員 1m V=0.368m3（土工部空洞部充填）
基層（橋梁部上流側）	粗粒度(20) 平均t=5cm(想定) 遮青材無し	m^2	13.508	平均幅員 3.70m
表層（橋梁部上流側）	密粒度(20)　t=5cm(想定) PK-4	m^2	13.508	平均幅員 3.70m
表層（橋梁部下流側）	密粒度(20)　t=5cm(想定) 遮青材無し	m^2	29.500	平均幅員 7.25m
表層（土工部）	密粒度(20)　t=4cm(想定) PK-3	m^2	41.295	平均幅員 7.65m

工事名			
図面名	造賀上戸野線1号橋　補修図(その5)		
作成年月日	令和 7 年 10 月		
縮 尺	図 示	図面番号	6 / 10
会社名	株式会社 荒谷建設コンサルタント		
事業者名	東広島市 建設部 維持課 市道保全係		

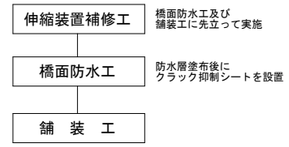
造賀上戸野線1号橋　補修図(その6)

伸縮装置補修工

橋　面　S=1:30

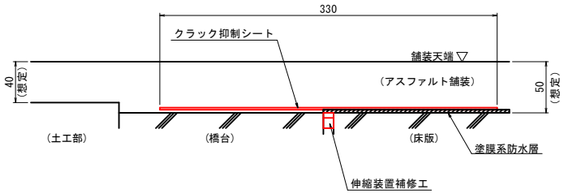


施工フロー図

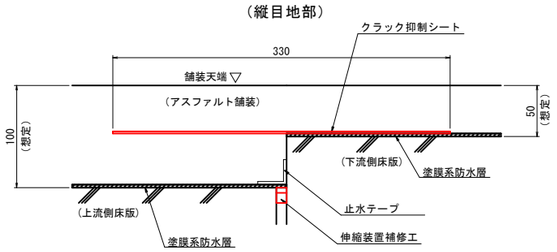


クラック抑制シート詳細図　S=1:3

（橋台伸縮部）



（縦目地部）



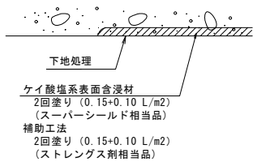
注）上流床版側の基層（50mm）を敷設後にクラック抑制シートを設置しすること。

伸縮装置補修工詳細図　S=1:1

工事名			
図面名	造賀上戸野線1号橋　補修図(その6)		
作成年月日	令和 7 年 10 月		
縮 尺	図 示	図面番号	7 / 10
会社名	株式会社 荒谷建設コンサルタント		
事業者名	東広島市 建設部 維持課 市道保全係		

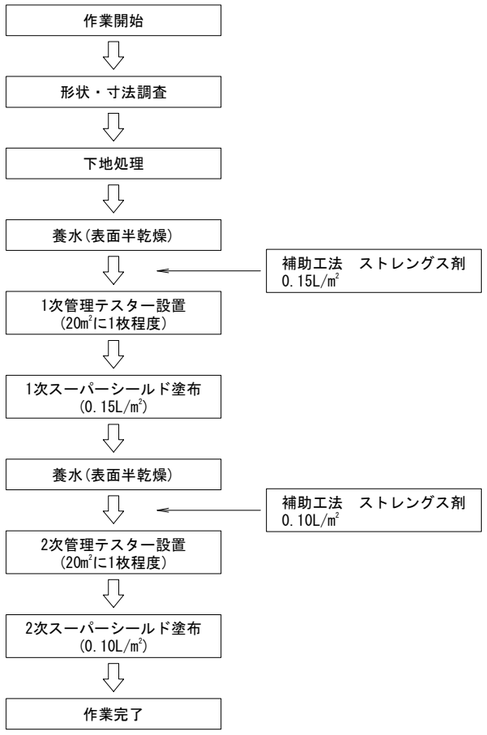
造賀上戸野線1号橋　補修要領図

表面含浸工
（ケイ酸塩系表面含浸工）

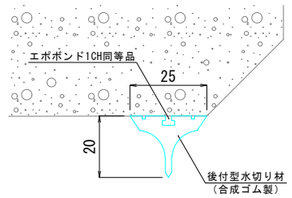


※　スーパーシールド塗布はコンクリート面を湿潤状態にして行い、
　　塗布後も含浸を促進するため散水養生すること。
※　下地処理は基本的に散水や高圧洗浄処理で洗い流す程度であり、
　　著しい凹凸や付着物等の含浸性を阻害する要因となるものについては
　　ブラスト処理やケレンによって除去・清掃すること。
※　外気温が施工後24時間以内に0℃以下になることが予想される場合や，
　　蒸発が極端に早まるような強風下での作業は避けること。

表面含浸工 施工フロー

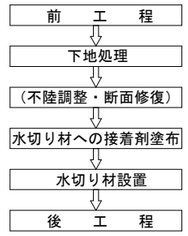


水切り設置工要領図



※　水切り設置面のコンクリートは，不陸のないよう
　　調整を行うこと。
※　水切り材設置に先立って，断面修復を行うこと。

水切り設置工 施工フロー



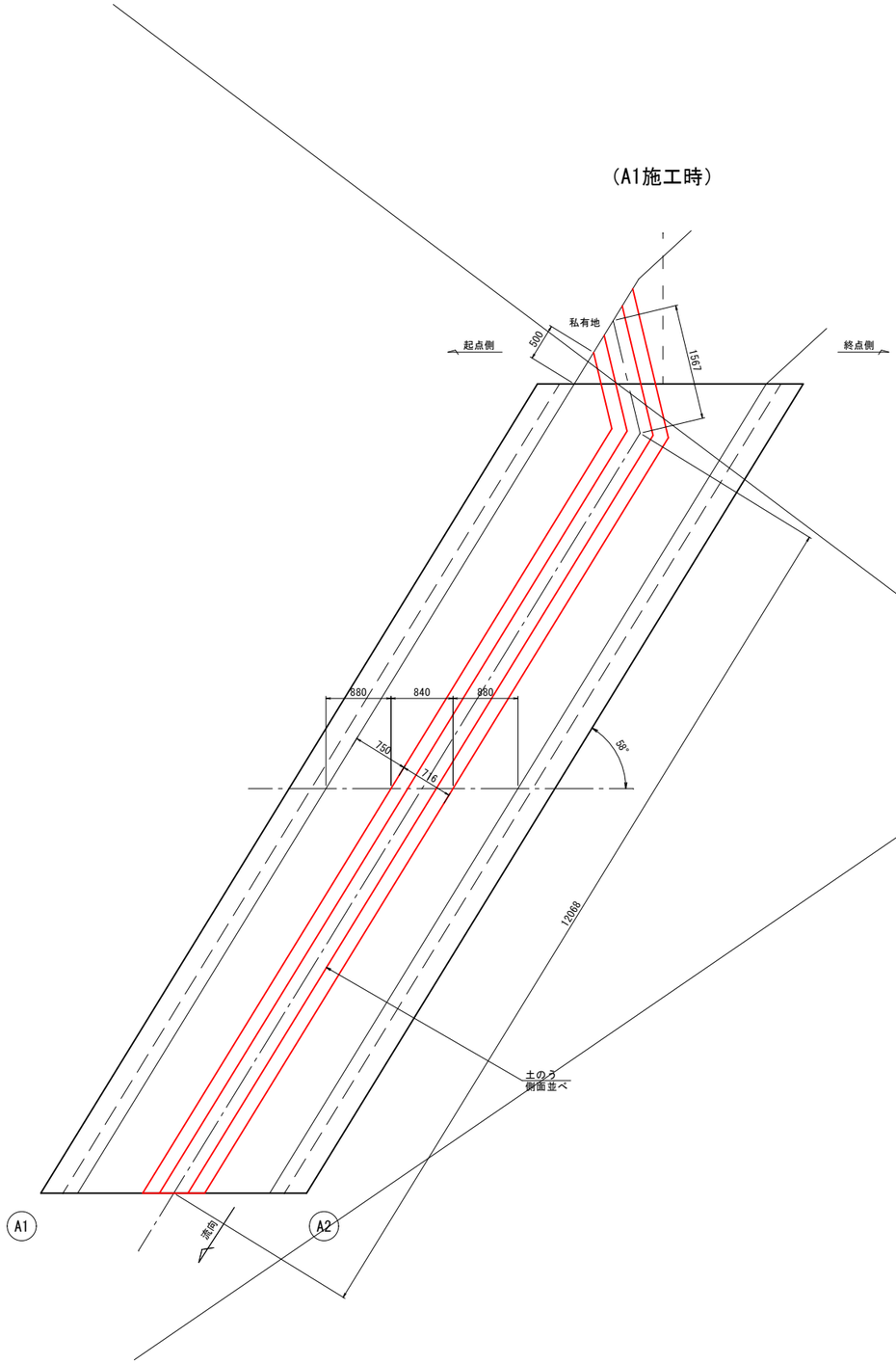
工事名			
図面名	造賀上戸野線1号橋　補修要領図		
作成年月日	令和 7 年 10 月		
縮 尺	図 示	図面番号	8 / 10
会社名	株式会社 荒谷建設コンサルタント		
事業者名	東広島市 建設部 維持課 市道保全係		

造賀上戸野線1号橋　仮設計画図（参考図）その1　S=1:40

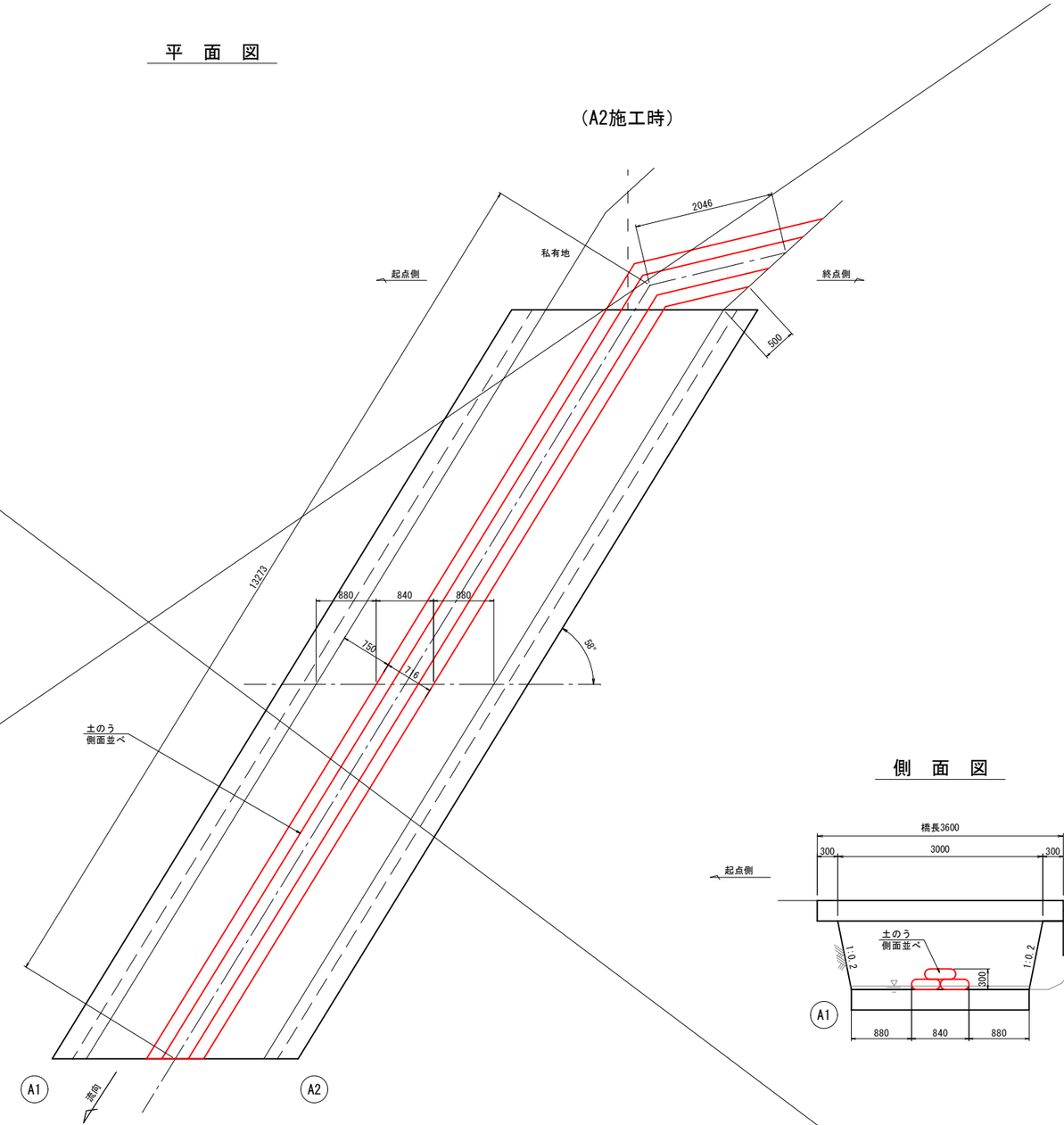
土のうエ

平　面　図

（A1施工時）



（A2施工時）



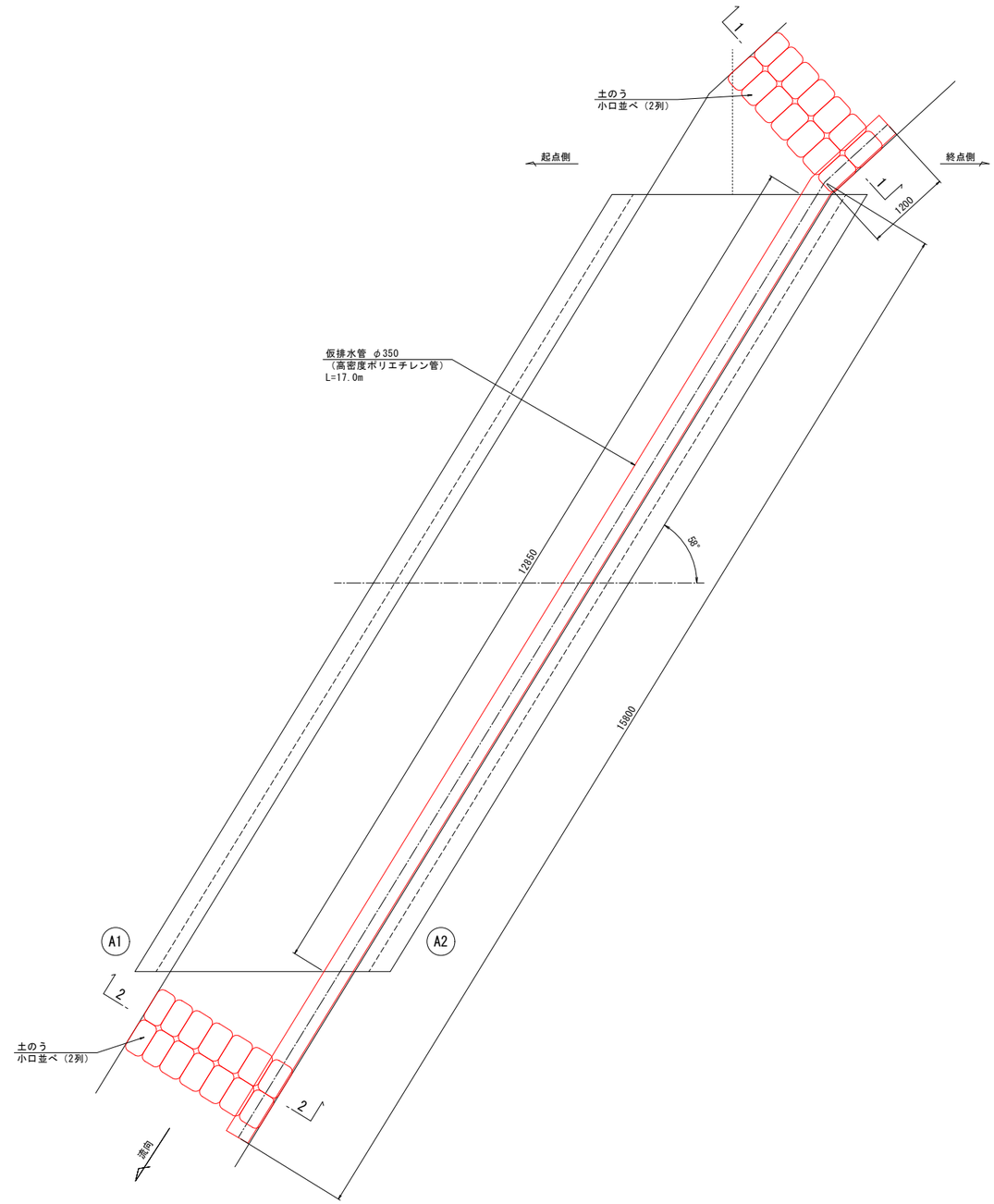
側　面　図

工事名			
図面名	造賀上戸野線1号橋　仮設計画図（参考図）その1		
作成年月日	令和 7 年 10 月		
縮 尺	図 示	図面番号	9 / 10
会社名	株式会社 荒谷建設コンサルタント		
事業者名	東広島市 建設部 維持課 市道保全係		

造賀上戸野線1号橋　仮設計画図（参考図）その2　S=1:40

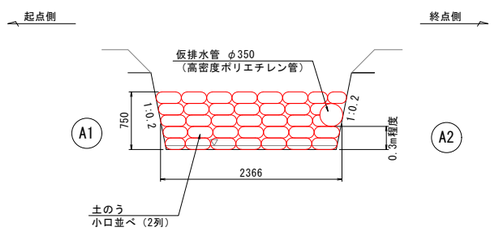
掛樋工（底版施工時）

平　面　図

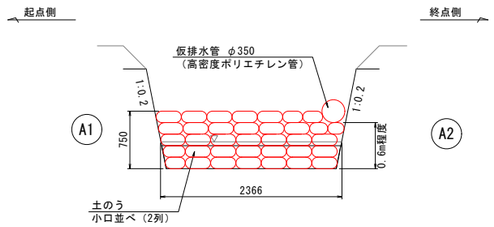


側　面　図

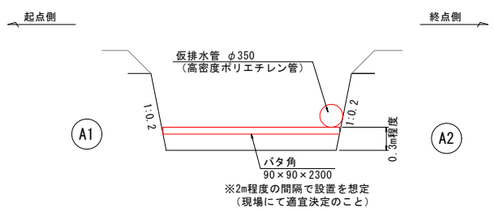
1-1断面
（上流側）



2-2断面
（下流側）



橋梁区間



※2m程度の間隔で設置を想定
（現場にて適宜決定のこと）

工事名			
図面名	造賀上戸野線1号橋　仮設計画図（参考図）その2		
作成年月日	令和 7 年 10 月		
縮 尺	図 示	図面番号	10 / 10
会社名	株式会社 荒谷建設コンサルタント		
事業者名	東広島市 建設部 維持課 市道保全係		

参 考 図 書

工事名称　：　令和８年度 橋梁長期保全事業

造賀上戸野線１号橋橋梁補修工事

＜注意事項＞

１　本工事は、数量公開の対象工事です。

２　この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。

数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、契約上の拘束をするものではありません。

３　その他

・当該工事により発生するAs殻、Co殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種　別	施設の名称	所在地	運搬距離
土砂	大地リサイクルセンター第3処分場	東広島市河内町戸野5861	3.5km
As殻	光陽産業(株)豊栄工場	東広島市豊栄町乃美1882-1	8.7km
Co殻（無筋）	(有)ドイ産業リサイクル施設	東広島市豊栄町安宿273-3	13.0km

４　水換え日数

水換え工は見込んでいない。

総括情報表

変更回数	0
適用単価地区	44 東広島市
単価適用日	00-08.09.01(0)
諸経費体系	1 公共(一般)

	当世代	前世代
工種	41 橋梁保全工事	
施工地域・工事場所区分	04 一般交通影響有り(2)	
復興補正区分	00 補正なし	
週休補正区分	09 閉所型・月単位	
現場事務所等の貸与区分	00 補正なし	
ＩＣＴ補正区分	00 補正なし	
冬期補正係数	00 補正なし	
緊急工事区分	00 通常工事 ０％	
前払金支出割合区分	00 補正無し	
契約保証区分	01 金銭的保証(0.04%)	

建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として，労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。

≪凡例≫

Co ･･･コンクリート　As ･･･アスファルト
DT ･･･ダンプトラック　BH ･･･バックホウ
CC ･･･クローラクレーン　TC ･･･トラッククレーン
RTC･･･ラフテレーンクレーン

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事	1	式			Y1G03　　レベル1
道路土工	1	式			Y1G0301　　レベル2
掘削工	1	式			Y1G030101　レベル3
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準以外	1	m3			Y1G03010101レベル4
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準以外	1	m3			SPK26040001 00 単第0 -0001　表
残土処理工	1	式			Y1G030110　レベル3
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	1	m3			Y1G03011002レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し　距離3.5km以下(3.0km超)	1	m3			SPK26040002 00 単第0 -0002　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
残土等処分	1	m3			Y1G03011003レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
建設発生土（土砂） 大地リサイクルセンター第3処分場	1	m3			F0000001700 00
舗装工	1	式			Y1G0302　　レベル2
舗装打換え工	1	式			Y1G030202　レベル3
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	18	m			Y1G03020201レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	18	m			SPK26040304 00 単第0 -0003　表
舗装版破砕 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	69	m2			Y1G03020202レベル4
舗装版破砕 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	69	m2			SPK26040303 00 単第0 -0004　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
下層路盤 全仕上り厚376mm 2層施工 RC-30	0.7	m2			Y1G03020207レベル4
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚376mm 2層施工 RC-30	0.7	m2			SPK26040232 00 単第0 -0005　表
上層路盤 全仕上り厚150mm 1層施工 RM-30	0.7	m2			Y1G03020208レベル4
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚150mm 1層施工	0.7	m2			SPK26040234 00 単第0 -0006　表
基層（上流側） 再生粗粒アスコン(20)　瀝青材無し 1層当り平均仕上厚50mm	14	m2			Y1G03020209レベル4
基層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm	14	m2			SPK26040239 00 単第0 -0007　表
表層（上流側） 再生密粒アスコン(20)　PK-4 1層当り平均仕上厚50mm	14	m2			Y1G03020211レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm	14	m2			SPK26040241 00 単第0 -0008　表
表層（下流側） 再生密粒アスコン(20)　瀝青材無し 1層当り平均仕上厚50mm	30	m2			Y1G03020211レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm	30	m2			SPK26040241 00 単第0 -0009 表
表層（土工部） 再生密粒アスコン(20) PK-3 1層当り平均仕上厚40mm	41	m2			Y1G03020211レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚40mm	41	m2			SPK26040241 00 単第0 -0010 表
橋面工	1	式			Y2999 レベル2
橋面防水工	1	式			Y1E020403 レベル3
橋面防水 アスファルト系	39	m2			Y1E02040301レベル4
橋面防水工(補修) 塗膜系防水 アスファルト系	39	m2			SS000255 00 単第0 -0011 表
成形目地材 ピタッとL型止水テープ 40x25x5(mm)	3.6	m			F0000001440 00
排水用導水管 φ18mm ステンレス製	41	m			Y4999 レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
排水用導水管 φ18㎜ ステンレス製	41	m			TTPC00029　00
橋梁付属物工	1	式			Y1G0319　レベル2
伸縮継手工	1	式			Y1G031901　レベル3
伸縮目地補修工	29	m			Y4999　レベル4
伸縮目地補修工	29	m			V0000000400 00 単第0 -0012　表
クラック防止シート張	29	m			SPK26040307 00 単第0 -0013　表
舗装用クラック防止材 幅50cm×長15m 引張強度110kN/m	29	m			T2130003　00
排水施設工	1	式			Y1G031903　レベル3
排水管 ＶＰ一般 ５０Ａ	2	m			Y1G03190302レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
橋梁_排水管設置 足場有り	2	m			SPK26040408 00 単第0 -0014 表
硬質塩化ビニール管 ＶＰ一般 ５０Ａ	2	m			T1702 00
コンクリート削孔(コンクリート穿孔機) 削孔径64㎜以上77㎜未満 削孔深さ200㎜以上400㎜未満	5	孔			SPK26040116 00 単第0 -0015 表
水切り工	1	式			Y3999 レベル3
水切り工	12	m			Y4999 レベル4
橋梁用水切り材設置工 床版下面　接着剤固定	12	m			V0000000500 00 単第0 -0016 表
橋梁補修工	1	式			Y1G0322 レベル2
断面修復工	1	式			Y1G032205 レベル3
吹付工法	43	m2			Y4999 レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
断面修復工（吹付工法）	43	m2			V0000000100 00 単第0 -0017 表
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ30㎜以上200㎜未満	137	孔			SPK26040114 00 単第0 -0018 表
鉄筋 SD295 D10	0.01	t			SPK26040332 00 単第0 -0019 表
鉄筋 SD345 D13	0.004	t			SPK26040332 00 単第0 -0020 表
鉄筋 SD345 D16～D25	0.03	t			SPK26040332 00 単第0 -0021 表
表面含浸工	1	式			Y1G032206 レベル3
下地処理工 サンダーケレン・高圧洗浄	12	m2			Y4901 レベル4
下地処理工	12	m2			V0000000200 00 単第0 -0022 表
表面含浸材塗布工 ケイ酸塩系ナトリウム含浸材 スーパーシールド工法相当品	12	m2			Y4902 レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表面含浸工 スーパーシールド工法相当品	12	m2			V0000000300 00 単第0 -0023 表
小口止め工	1	式			Y3999 レベル3
小口止コンクリート 18-8-40BB 一般養生	0.3	m3			Y1G01100314レベル4
現場打小口止コンクリート 18-8-40BB 一般養生	0.3	m3			SPK26040050 00 単第0 -0024 表
型枠 一般型枠 小型構造物	2	m2			Y1G01050704レベル4
型枠 一般型枠 小型構造物	2	m2			SPK26040159 00 単第0 -0025 表
モルタル充てん工	1	式			Y3999 レベル3
モルタル充てん工 無収縮モルタル	0.2	m3			Y4999 レベル4
コンクリート 小型構造物 コンクリート(各種) バックホウ(クレーン機能付)打設	0.2	m3			SPK26040157 00 単第0 -0026 表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
型枠 一般型枠 小型構造物	0.6	m2			Y1G01050704レベル4
型枠 一般型枠 小型構造物	0.6	m2			SPK26040159 00 単第0 -0025 表
底張コンクリート工	1	式			Y2999 レベル2
底張コンクリート工	1	式			Y3999 レベル3
基面整正	27	m2			Y1G03110104レベル4
基面整正	27	m2			SPK26040016 00 単第0 -0027 表
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB	8	m3			Y1G01050703レベル4
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	8	m3			SPK26040157 00 単第0 -0028 表
構造物撤去工	1	式			Y1G0325 レベル2

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物取壊し工	1	式			Y1G032506　レベル3
コンクリート構造物取壊し 人力施工(コンクリートブレーカ)	8	m3			Y1G03250601レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 人力施工(コンクリートブレーカ)	8	m3			SDT00031　00 単第0 -0029　表
運搬処理工	1	式			Y1G032516　レベル3
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし	10	m3			Y1G03251601レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離14.4km以下(10.9km超)	10	m3			SPK26040155 00 単第0 -0030　表
殻運搬 舗装版破砕	3	m3			Y1G03251601レベル4
殻運搬 舗装版破砕 DID区間無し 運搬距離10.0km以下(7.5km超)	3	m3			SPK26040155 00 単第0 -0031　表
殻処分 無筋構造物	25	t			Y1G03251602レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
Co殻処分費 無筋構造物 ドイ産業リサイクル施設	25	t			F0000001800 00
殻処分 舗装版破砕	7	t			Y1G03251602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
As殻処分費 舗装版破砕 光陽産業豊栄工場	7	t			F0000002000 00
仮設工	1	式			Y1G0326　　レベル2
仮水路工	1	式			Y1G032608　レベル3
排水管 据付・撤去 直管 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径350㎜	17	m			Y1G03260803レベル4
排水管 据付・撤去 直管 200～400㎜ 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径350㎜	17	m			SPK26040093 00 単第0 -0032　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土のう積 製作・積立・撤去 小口並べ	7	m2			Y1G03260807レベル4
土のう積工 製作・積立 小口並べ	7	m2			S1050063　00 単第0 -0033　表
土のう積工 撤去 小口並べ	7	m2			S1050063　00 単第0 -0034　表
交通管理工	1	式			Y1G032621　レベル3
交通誘導警備員	6	人			Y1G03262101レベル4
交通誘導警備員B	6	人			R0369　00
＊＊直接工事費＊＊ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					 当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊ 計算情報…… 対象額…… 率……					

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊工事費計＊＊					
＊＊契約保証費計＊＊					

施工単価表

掘削　　SPK26040001　　単第0 -0001　表

土砂 上記以外(小規模)　　標準以外　　1　　m3　　当り

機械構成比:　21.20%　　労務構成比:　70.89%　　材料構成比:　7.91%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　2,870.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 バケット容量0.13m3	21.20%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 バケット容量0.13m3		MTPC00184 MTPT00184
運転手(特殊)	70.89%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.91%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　土砂 E=8　標準以外			B=5　上記以外(小規模)		

施工単価表

土砂等運搬　　SPK26040002　　単第0 -0002　表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)　　DID区間無し　距離3.5km以下(3.0km超)　　1　　m3　　当り

機械構成比:　19.09%　　労務構成比:　72.09%　　材料構成比:　8.82%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　3,171.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 通称2t積級	19.09%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.09%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	8.82%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2　小規模 C=1　土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=17　距離3.5km以下(3.0km超)			B=6　バックホウ B容量0.13m3 D=1　DID区間無し		

施工単価表

舗装版切断　　SPK26040304　　単第0 -0003　表

アスファルト舗装版　　アスファルト舗装版厚15cm以下　　1　m　当り

機械構成比: 14.40%　労務構成比: 58.90%　材料構成比: 26.70%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 731.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)･湿式･E駆動 通称(切削深)20cm級ブレード径φ56cm	9.80%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式・E駆動 通称(切削深)20cm級 ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	20.20%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.89%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	9.00%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.47%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.88%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版切断　　SPK26040304　　単第0 -0003　表

アスファルト舗装版　　アスファルト舗装版厚15cm以下　　1　m　当り

機械構成比: 14.40%　労務構成比: 58.90%　材料構成比: 26.70%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 731.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 E=1 -(全ての費用)			B=1 アスファルト舗装版厚15cm以下		

施工単価表

舗装版破砕　　SPK26040303　　単第0 -0004　表

アスファルト舗装版　　障害等無し 舗装版厚15cm以下　　1　m2　当り

機械構成比: 12.28%　労務構成比: 81.66%　材料構成比: 6.06%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 227.41000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	12.28%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型 バケット容量0.45m3		KTPC00066 KTPT00066
土木一般世話役	29.51%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	27.76%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	24.39%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	6.06%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 C=1 騒音振動対策不要 F=1 積込作業有り			B=1 障害等無し D=1 舗装版厚15cm以下 G=1 -(全ての費用)		

施工単価表

下層路盤(車道・路肩部)　SPK26040232　単第0 -0005　表

全仕上り厚376mm 2層施工　RC-30　1　m2　当り

機械構成比: 6.30%　労務構成比: 21.27%　材料構成比: 72.43%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 2,347.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	4.36%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.54%		ロードローラ マカダム 運転質量10t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13～14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.53%		タイヤローラ 運転質量13～14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	9.39%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	3.42%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	3.05%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	2.48%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

下層路盤(車道・路肩部)　SPK26040232　単第0 -0005　表

全仕上り厚376mm 2層施工　RC-30　1　m2　当り

機械構成比: 6.30%　労務構成比: 21.27%　材料構成比: 72.43%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 2,347.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生クラッシャラン 30～0mm	70.38%		クラッシャラン 40～0mm [標準数量]全仕上り厚250mm		TTPCD0018 TTPT00347
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.77%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=376　全仕上り厚(mm) D=1　-(全ての費用)			B=3　RC-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):376.000(mm)					

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)　SPK26040234　単第0 -0006　表

RM-30　全仕上り厚150㎜ 1層施工　1　m2　当り

機械構成比: 11.39%　労務構成比: 38.57%　材料構成比: 50.04%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 646.43000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	7.88%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.98%		ロードローラ マカダム 運転質量10t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13～14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.96%		タイヤローラ 運転質量13～14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	16.98%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	6.21%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	5.55%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	4.51%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)　SPK26040234　単第0 -0006　表

RM-30　全仕上り厚150㎜ 1層施工　1　m2　当り

機械構成比: 11.39%　労務構成比: 38.57%　材料構成比: 50.04%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 646.43000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整砕石 30～0㎜	46.32%		再生粒度調整砕石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150㎜		TTPC00010 TTPT00357
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.21%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=5　RM-30 H=1　-(全ての費用)			E=150　全仕上り厚(㎜)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(㎜)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(㎜):150.000(㎜)					

施工単価表

基層(車道・路肩部)　SPK26040239　単第0 -0007　表

平均幅員3.0m超　1層当り平均仕上厚50mm　1　m2　当り

機械構成比: 1.63%　労務構成比: 12.64%　材料構成比: 85.73%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,457.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.09%		アスファルトフィニッシャ ホイール型 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量13～14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.17%		タイヤローラ 運転質量13～14t		KTPC00074 KTPT00074
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.17%		ロードローラ マカダム 運転質量10t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	4.79%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	2.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.66%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.95%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

基層(車道・路肩部)　SPK26040239　単第0 -0007　表

平均幅員3.0m超　1層当り平均仕上厚50mm　1　m2　当り

機械構成比: 1.63%　労務構成比: 12.64%　材料構成比: 85.73%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,457.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生粗粒度(20)	85.03%		再生粗粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00023 TTPT00281
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.62%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=8 再生粗粒度アスコン(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=5 瀝青材料無し H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

表層(車道・路肩部)　SPK26040241　単第0 -0008　表

平均幅員3.0m超　1層当り平均仕上厚50mm　1　m2　当り

機械構成比: 1.39%　労務構成比: 10.78%　材料構成比: 87.83%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,799.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.88%		アスファルトフィニッシャ ホイール型 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量13～14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.14%		タイヤローラ 運転質量13～14t		KTPC00074 KTPT00074
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.14%		ロードローラ マカダム 運転質量10t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.88%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	2.18%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.15%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.77%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

表層(車道・路肩部)　SPK26040241　単第0 -0008　表

平均幅員3.0m超　1層当り平均仕上厚50mm　1　m2　当り

機械構成比: 1.39%　労務構成比: 10.78%　材料構成比: 87.83%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,799.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	84.58%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用	2.65%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.50%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=1 PK-4 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

表層(車道・路肩部)　SPK26040241　単第0 -0009　表

平均幅員3.0m超　1層当り平均仕上厚50mm　1　m2　当り

機械構成比: 1.35%　労務構成比: 10.60%　材料構成比: 88.05%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,740.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.91%		アスファルトフィニッシャ ホイール型 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量13～14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.14%		タイヤローラ 運転質量13～14t		KTPC00074 KTPT00074
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.14%		ロードローラ マカダム 運転質量10t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	4.01%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	2.26%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.23%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.80%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

表層(車道・路肩部)　SPK26040241　単第0 -0009　表

平均幅員3.0m超　1層当り平均仕上厚50mm　1　m2　当り

機械構成比: 1.35%　労務構成比: 10.60%　材料構成比: 88.05%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,740.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	87.47%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.51%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=5 瀝青材料無し H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

表層(車道・路肩部)　SPK26040241　単第0 -0010　表

平均幅員3.0m超　1層当り平均仕上厚40mm　1　m2　当り

機械構成比: 1.32%　労務構成比: 10.25%　材料構成比: 88.43%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,891.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.84%		アスファルトフィニッシャ ホイール型 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量13～14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.13%		タイヤローラ 運転質量13～14t		KTPC00074 KTPT00074
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.13%		ロードローラ マカダム 運転質量10t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.69%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	2.07%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.05%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.73%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

表層(車道・路肩部)　SPK26040241　単第0 -0010　表

平均幅員3.0m超　1層当り平均仕上厚40mm　1　m2　当り

機械構成比: 1.32%　労務構成比: 10.25%　材料構成比: 88.43%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,891.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	80.48%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	7.39%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.47%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=40 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):40.000(mm)					

施工単価表

橋面防水工(補修) 塗膜系防水　　SS000255　　単第0 -0011　表

アスファルト系　　1　　m2　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
塗膜系防水【材工共】 アスファルト系 補修	1.000	m2			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　　-					

施工単価表

伸縮目地補修工　　V0000000400　　単第0 -0012　表

10　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.07	人			
普通作業員	0.13	人			
シール材	5.2	kg			
雑材料	10	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

クラック防止シート張　　SPK26040307　　単第0 -0013　表

1　m　当り

機械構成比: 7.22%　労務構成比: 91.91%　材料構成比: 0.87%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 357.18000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
タイヤローラ 普通型・排2014 運転質量13～14t	6.28%		タイヤローラ 普通型・排2014 運転質量13～14t		MTPC00177 MTPT00177
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	50.30%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	18.14%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	5.80%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	5.69%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.76%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

クラック防止シート張　　SPK26040307　　単第0 -0013　表

1　m　当り

機械構成比: 7.22%　労務構成比: 91.91%　材料構成比: 0.87%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 357.18000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=1　-(全ての費用)					

施工単価表

橋梁_排水管設置　　SPK26040408　　単第0 -0014　表

足場有り　　1　m　当り

機械構成比:　0.00%　労務構成比:　100.00%　材料構成比:　0.00%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価:　5,608.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
特殊作業員	47.46%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	30.10%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	21.95%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=2　足場有り					

施工単価表

コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)　SPK26040116　単第0 -0015　表

削孔径64㎜以上77㎜未満　削孔深さ200㎜以上400㎜未満　1　孔　当り

機械構成比: 3.13%　労務構成比: 70.29%　材料構成比: 26.58%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 6,893.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン [簡易仕様型]最大穿孔径φ250㎜	1.66%		コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン 〔簡易仕様型〕 最大穿孔径φ250㎜		MTPC00093 MTPT00093
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量3kVA 低騒音	0.95%		発動発電機 ガソリンエンジン駆動 3kVA		KTPC00042 KTPT00042
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	41.67%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	11.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.64%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ダイヤモンドビット 外径77.4㎜,一般用 コンクリート削孔用	23.14%		ダイヤモンドビット φ77.4㎜		TTPC00233 TTPT00233
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.87%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014

施工単価表

コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)　SPK26040116　単第0 -0015　表

削孔径64㎜以上77㎜未満　削孔深さ200㎜以上400㎜未満　1　孔　当り

機械構成比: 3.13%　労務構成比: 70.29%　材料構成比: 26.58%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 6,893.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=2　削孔径64㎜以上77㎜未満			B=2　削孔深さ200㎜以上400㎜未満		

施工単価表

橋梁用水切り材設置工　　V0000000500　　単第0 -0016　表

床版下面　接着剤固定　　1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋梁用水切り材設置工	1	m			
橋梁用水切り材 ウォーターカッター	1	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

断面修復工（吹付工法）　V0000000100　単第0 -0017　表

43　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	3.3	人			
特殊作業員	9.9	人			
左官	9.9	人			
普通作業員	13.2	人			
断面修復吹付材	5,745.7	kg			
水 生コンプラント購入	787.2	kg			
プライマー	9.02	kg			
発動発電機(25kVA)	3.3	台			
エンジンコンプレッサー	3.3	台			
モルタルポンプ	3.3	台			
粉体圧送機	3.3	台			
4tユニック	3.3	台			

施工単価表

断面修復工（吹付工法）　V0000000100　単第0 -0017　表

43　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
散水車	3.3	台			
機械器具・燃料	30	%			#01
機械運搬費	20	%			#01
雑材料	10	%			#02
＊＊＊　合計　＊＊＊	43	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施工単価表

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)　SPK26040114　単第0 -0018　表

削孔深さ30㎜以上200㎜未満　1　孔　当り

機械構成比: 2.05%　労務構成比: 95.59%　材料構成比: 2.36%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 720.84000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音	0.98%		発動発電機 ガソリンエンジン駆動 2kVA		KTPC00041 KTPT00041
その他 電動ハンマドリル 穴あけ能力φ38～40㎜	0.69%		電動ハンマドリル 穴あけ能力φ38～40㎜		MTPC00146 MTPT00146
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	45.66%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.58%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.48%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.92%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)　SPK26040114　単第0 -0018　表

削孔深さ30㎜以上200㎜未満　1　孔　当り

機械構成比: 2.05%　労務構成比: 95.59%　材料構成比: 2.36%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 720.84000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=1　削孔深さ30㎜以上200㎜未満					

施工単価表

鉄筋　　SPK26040332　　単第0 -0019　表

SD295 D10　　1　t　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 71.93%　材料構成比: 28.07%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 414,160.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
鉄筋工	40.95%		鉄筋工		RTPC00018 RTPT00018
普通作業員	19.41%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.16%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
異形棒鋼<JISG3112> SD295,D10 単位質量0.56kg/m	28.07%		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13		TTPCD0445 TTPT00001
積算単価			積算単価		EP001
A=1　SD295 D10			B=1　-(全ての費用)		

施工単価表

鉄筋　　SPK26040332　　単第0 -0020　表

SD345 D13　　1　t　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 71.93%　材料構成比: 28.07%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 414,160.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
鉄筋工	40.95%		鉄筋工		RTPC00018 RTPT00018
普通作業員	19.41%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.16%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
異形棒鋼<JISG3112> SD345,D13 単位質量0.995kg/m	28.07%		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13		TTPC00001 TTPT00001
積算単価			積算単価		EP001
A=4　SD345 D13			B=1　-(全ての費用)		

施工単価表

鉄筋　　SPK26040332　　単第0 -0021　表

SD345 D16～D25　　1　t　当り

機械構成比:　0.00%　労務構成比:　71.93%　材料構成比:　28.07%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　414,160.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
鉄筋工	40.95%		鉄筋工		RTPC00018 RTPT00018
普通作業員	19.41%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.16%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
異形棒鋼<JISG3112> SD345,D16～25	28.07%		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13		TTPCD0072 TTPT00001
積算単価			積算単価		EP001
A=5　SD345 D16～D25			B=1　-(全ての費用)		

施工単価表

下地処理工　　V0000000200　　単第0 -0022　表

50　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2	人			
特殊作業員	5	人			
普通作業員	2	人			
諸雑費	10	%			#01
＊＊＊　合計　＊＊＊	50	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施工単価表

表面含浸工　　V0000000300　　単第0 -0023　表

スーパーシールド工法相当品　　100　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.5	人			
特殊作業員	2	人			
普通作業員	2.5	人			
ケイ酸塩系表面含浸材 スーパーシールド	28.8	L			
塗布量確認材 スーパーシールド	1	セット			
機械費	1	式			
雑材料	10	%			#01
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施工単価表

現場打小口止コンクリート　　SPK26040050　　単第0 -0024　表

18-8-40BB　　一般養生　　1　m3　当り

機械構成比: 1.74%　労務構成比: 68.26%　材料構成比: 30.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 76,553.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	1.74%		バックホウ(クローラ型) クレーン機能付 バケット容量0.8m3 吊能力2.9t		KTPC00006 KTPT00006
普通作業員	21.82%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
型わく工	21.53%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
土木一般世話役	10.49%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	5.85%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	29.00%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.00%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		E9999

施工単価表

現場打小口止コンクリート　　SPK26040050　　単第0 -0024　表

18-8-40BB　　一般養生　　1　m3　当り

機械構成比:　1.74%　労務構成比:　68.26%　材料構成比:　30.00%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　76,553.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
A=2　18-8-40BB D=1　-			C=1　一般養生		

施工単価表

型枠　　SPK26040159　　単第0 -0025　表

一般型枠　　小型構造物　　1　　m2　　当り

機械構成比:　0.00%　労務構成比:　100.00%　材料構成比:　0.00%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　9,646.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	44.38%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.83%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.75%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1　一般型枠 C=1　-(全ての費用)			B=2　小型構造物		

施工単価表

コンクリート　　SPK26040157　　単第0 -0026　表

小型構造物 コンクリート(各種)　　バックホウ(クレーン機能付)打設　　1　m3　当り

機械構成比: 3.26%　労務構成比: 37.29%　材料構成比: 59.45%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 39,328.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	3.08%		バックホウ(クローラ型) クレーン機能付 バケット容量0.8m3 吊能力2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	11.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	9.88%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.66%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.28%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
無収縮モルタル	57.72%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		F0000000100 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.64%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

コンクリート　　SPK26040157　　単第0 -0026　表

小型構造物 コンクリート(各種)　　バックホウ(クレーン機能付)打設　　1　m3　当り

機械構成比: 3.26%　労務構成比: 37.29%　材料構成比: 59.45%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 39,328.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=4 コンクリート(各種) F=2 一般養生 K=1 -(全ての費用)			B=2 バックホウ(クレーン機能付)打設 D=100 【F】コンクリート(m3) J=1 -		

施工単価表

基面整正　　SPK26040016　　単第0 -0027　表

1　　m2　　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 100.00%　材料構成比: 0.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 536.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	100.00%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

コンクリート　　SPK26040157　　単第0 -0028　表

小型構造物 18-8-40BB　　バックホウ(クレーン機能付)打設　　1　m3　当り

機械構成比: 3.26%　労務構成比: 37.29%　材料構成比: 59.45%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 39,328.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	3.08%		バックホウ(クローラ型) クレーン機能付 バケット容量0.8m3 吊能力2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	11.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	9.88%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.66%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.28%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	57.72%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.64%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

コンクリート　　SPK26040157　　単第0 -0028　表

小型構造物 18-8-40BB　　バックホウ(クレーン機能付)打設　　1　m3　当り

機械構成比: 3.26%　労務構成比: 37.29%　材料構成比: 59.45%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 39,328.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=2 18-8-40BB J=1 -			B=2 バックホウ(クレーン機能付)打設 F=2 一般養生 K=1 -(全ての費用)		

施工単価表

構造物とりこわし工(無筋構造物)　SDT00031　単第0 -0029　表

人力施工(コンクリートブレーカ)　1　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_無筋構造物【手間のみ】 人力施工 時間的制約なし	1.000	m3			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=1　昼間施工 D=1　時間的制約なし			B=2　人力施工(コンクリートブレーカ)		

施工単価表

殻運搬　　SPK26040155　　単第0 -0030　表

Co(無筋)構造物とりこわし　　DID区間無し 運搬距離14.4km以下(10.9km超)　　1　　m3　　当り

機械構成比:　39.03%　労務構成比:　46.18%　材料構成比:　14.79%　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　2,200.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 通称10t積級	39.03%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	46.18%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	14.79%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=50 運搬距離14.4km以下(10.9km超)		

施工単価表

殻運搬　　SPK26040155　　単第0 -0031　表

舗装版破砕　　DID区間無し　運搬距離10.0km以下(7.5km超)　　1　　m3　　当り

機械構成比:　42.27%　　労務構成比:　41.18%　　材料構成比:　16.55%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　2,485.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 通称10t積級	42.27%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	41.18%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	16.55%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3　舗装版破砕 C=1　DID区間無し E=1　-(全ての費用)			B=2　機械積込(騒対不要,15cm超)又(騒対要) D=41　運搬距離10.0km以下(7.5km超)		

施工単価表

排水管　　SPK26040093　　単第0 -0032　表

据付・撤去 直管 200～400mm　　硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径350mm　　1　m　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 22.77%　材料構成比: 77.23%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 5,767.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	16.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	6.74%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
薄肉管(VU)(JISK6741)PE 呼び径350(370×10.5)	77.23%		暗渠排水管 直管 呼び径300mm ポリエチレン吸水管		TTPCD0408 TTPT00189
積算単価			積算単価		E9999
A=3 据付・撤去 C=2 200～400mm G=2 期間3ヶ月未満(損料率0.2) I=1 -(全ての費用)			B=1 直管 D=69 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径350mm H=0 現場の状況による材料損料率の率乗算		
【管材料単価】 管材料単価(円) * (材料損料率 + (材料損料率 * 現場状況による材料損料率の率乗算))					

施工単価表

土のう積工　　S1050063　　単第0 -0033　表

製作・積立　　小口並べ　　10　　m2　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
補足土（ほぐし）	3.400	m3			
土のう 幅48cm×長62cm 2号 ポリエチレン製	170.000	枚			17*10
土木一般世話役	0.340	人			
普通作業員	4.930	人			
諸雑費	0.3	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　製作・積立 C=1600　【F】土砂(m3)			B=1　小口並べ D=1500　【F】土のう(袋)		

施工単価表

土のう積工　　S1050063　　単第0 -0034　表

撤去　　小口並べ　　10　　m2　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員	2.720	人			
諸雑費	0.2	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=2　撤去			B=1　小口並べ		

造賀上戸野線1号橋　橋梁補修工数量総括表

工種	細別		規格	単位	合計	備考
橋梁補修工	断面修復工 吹付工法	断面修復工		m^2	43.12	
		補修材	ポリマーセメントモルタル	m^3	2.19	
		鉄筋防錆工		m^2	16.99	
		鉄筋防錆材	ペースト系	kg	16.99	
		コンクリート削孔	削孔径13mm，削孔深さ50mm，6箇所/㎡	孔	137	
		アンカー筋	D10×100mm，　SD295	本	137	
				t	0.01	
		鉄筋工	D13	kg	4	SD345，一般構造物
			D16	kg	28	
			合計	kg	32	
		コンクリート殻	無筋構造物	m^3	2.19	
				t	5.14	
	表面含浸工	下地処理	高圧洗浄	m^2	11.67	
		表面含浸工	ケイ酸ナトリウム系含浸材	m^2	11.67	鉄筋防錆効果付与
		表面含浸材	補助工法：ストレングス剤相当品	L	2.92	
			スーパーシールド相当品	L	2.92	
		テスター設置	1組/20m2	組	1	
	水切り設置工	水切り材	合成ゴム製	m	12.00	ウォーターカッター相当品
		下地処理		m^2	0.30	
		接着剤塗布	エポキシ樹脂系接着剤	m^2	0.30	
	橋台補修工	小口止め工				
		作業土工	掘削，土砂	m^3	0.08	
		コンクリート工	σck=18N/mm2	m^3	0.26	
		型枠工	一般型枠，小型構造物	m^2	1.61	
		モルタル充填工				
		充填工	無収縮モルタル	m^3	0.22	
		型枠工	一般型枠，小型構造物	m^2	0.56	
	底張り コンクリート工	構造物とりこわし工		m^3	8.34	
		コンクリート殻	無筋構造物	m^3	8.34	
				t	19.61	
		基面整正		m^2	27.16	
		コンクリート工	σck=18N/mm2	m^3	8.34	
	舗装打換え工	舗装版切断工	アスファルト舗装，t=4cm	m	17.95	
		舗装版破砕工	アスファルト舗装，t=15cm以下	m^2	68.76	
		土砂撤去	掘削，土砂	m^3	1.37	
		路盤工	上層路盤（車道・路肩部） 再生粒度調整砕石RM30	m^2	0.70	土工部 空洞部充填 t=0.150m
			下層路盤（車道・路肩部） 再生砕石RC30	m^2	0.70	土工部 空洞部充填 t=0.376m
		アスファルト舗装工	橋梁部上流側 基層（車道・路肩部） 粗粒度(20)，t=5cm，瀝青材無し	m^2	13.51	
			橋梁部上流側 表層（車道・路肩部） 密粒度(20)，t=5cm，PK-4	m^2	13.51	
			橋梁部下流側 表層（車道・路肩部） 密粒度(20)，t=5cm，瀝青材無し	m^2	29.50	
			土工部 表層（車道・路肩部） 密粒度(20)，t=4cm，PK-3	m^2	41.30	
		アスファルト殻		m^3	3.11	
				t	7.15	
	橋面防水工	橋面防水	塗膜系アスファルト加熱型防水層	m^2	39.42	
		ドレーン材	排水用導水管（φ18）	m	39.34	
			材料ロス	m	1.97	
			合　計	m	41.31	
		止水テープ	L型止水テープ	m	3.60	
		床版用水抜きパイプ	塩ビ管（VP50）	m	1.60	
		充填材	エポキシ樹脂系	kg	1.65	
		コンクリート削孔工	φ70×250	孔	3	
			φ70×300	孔	2	
		コンクリート殻	無筋構造物	m^3	0.01	
				t	0.01	

造賀上戸野線1号橋　橋梁補修工数量総括表

工種	細別		規格	単位	合計	備考
橋梁補修工	伸縮装置補修工	伸縮目地材	シール材	m	29.30	
				ℓ	1.91	
		プライマー塗布		m^2	0.29	W=0.29m^2x0.002mx1700kg/m^3=0.986kg
		バックアップ材		m	29.30	
		ボンドブレーカー		m^2	0.293	
		クラック抑制シート	W=500	m	28.91	
	仮設工	掛樋工				
		土のう工	小口並べ	m^2	7.10	
		仮排水管	高密度ポリエチレン管φ350	m	17.00	

1. 断面修復工（湿式吹付け工法，上向き施工）

(1) 断面修復工（ポリマーセメントモルタル）
はつり有，鉄筋ケレン、鉄筋防錆処理有（橋台部は鉄筋ケレン，鉄筋防錆処理無し）
※ポリマーセメントモルタル

A ＝ 2.722 ＋ 22.830 ＋ 17.572 ＝ 43.124 m^2

修復材数量

V ＝ 0.109 ＋ 1.484 ＋ 0.596 ＝ 2.189 m^3

(2) 鉄筋防錆工

1) 上流側
・橋軸方向鉄筋　鉄筋径＝ φ13
純かぶり＝ 5.5 mm
配筋間隔＝ 0.146 m → 7 本/m

・直角方向鉄筋　鉄筋径＝ φ9
純かぶり＝ 20.5 mm
配筋間隔＝ 0.439 m → 3 本/m

・補修1㎡あたり鉄筋防錆工面積 ＝ 13 / 1000 × π × 7
＋ 9 / 1000 × π × 3
＝ 0.370 ㎡/1㎡当り

2) 下流側
・橋軸方向鉄筋　鉄筋径＝ φ16
純かぶり＝ 25 mm
配筋間隔＝ 0.126 m → 8 本/m
変状図より=（111.7+130+135）/3

・直角方向鉄筋　鉄筋径＝ φ12
純かぶり＝ 40 mm
配筋間隔＝ 0.138 m → 8 本/m
変状図より=（156.7+120+136.7）/3

・補修1㎡あたり鉄筋防錆工面積 ＝ 16 / 1000 × π × 8
＋ 12 / 1000 × π × 8
＝ 0.700 ㎡/1㎡当り

3) 鉄筋防錆工面積

・上流側　・下流側
A ＝ 2.722（補修面積） × 0.370（単位鉄筋防錆工面積） ＋ 22.830（補修面積） × 0.700（単位鉄筋防錆工面積） ＝ 16.988 m^2

4) 鉄筋防錆材

W ＝ 16.988 × 1.0（単位重量kg/㎡（ロス込み）） ＝ 16.988 kg

(3) コンクリート削孔 （ 削孔径13mm，削孔深さ50mm，6箇所/㎡ ）
下流側のみ

N ＝ 22.830 × 6 ＝ 137 孔

(4) アンカー筋 （ D10×100mm， SD295 ）
下流側のみ

N ＝ コンクリート削孔と同量 ＝ 137 本
W ＝ 137 × 0.100 × 0.56（単位質量kg/m） / 1000 ＝ 0.008 t

(5) 鉄筋工　　(SD345, 一般構造物)

・D13×1600, N=1本

W1 = 0.995 × 1.600 × 1 = 2 kg

・D13×900, N=2本

W2 = 0.995 × 0.900 × 2 = 2 kg

・D16×3000, N=6本

W3 = 1.560 × 3.000 × 6 = 28 kg

規格	質量(kg)
D13	4
D16	28
合計	32

(6) コンクリート殻 (無筋構造物)

V = = 2.189 m^3

W = 2.189 × 2.35 (t/m^3) = 5.144 t

断面修復工　湿式吹付け工法：はつり有，鉄筋ケレン，鉄筋防錆処理有（橋台部は鉄筋ケレン，鉄筋防錆処理無し）

	部位		損傷区分	損傷形状		鉄筋かぶり	補修厚	断面修復工		
				寸法 (m × m)	深さ (m)	(m)	(m)	補修面積 (m^2)	補修体積 (m^3)	はつり (m^2)
上流側										
D1	A1-A2	床版	うき	0.200 × 0.200	0.040	0.021	0.040	0.040	0.0016	0.040
D2	A1-A2	床版	鉄筋露出	0.300 × 1.300	0.040	0.021	0.040	0.390	0.0156	0.390
D3	A1-A2	床版	鉄筋露出	0.100 × 0.100	0.040	0.021	0.040	0.010	0.0004	0.010
D4	A1-A2	床版	鉄筋露出	0.900 × 0.100	0.040	0.021	0.040	0.090	0.0036	0.090
D5	A1-A2	床版	鉄筋露出	1.000 × 0.250	0.040	0.021	0.040	0.250	0.0100	0.250
D6	A1-A2	床版	鉄筋露出	0.200 × 0.300	0.040	0.021	0.040	0.060	0.0024	0.060
D7	A1-A2	床版	鉄筋露出	0.050 × 0.050	0.040	0.021	0.040	0.003	0.0001	0.003
D8	A1-A2	床版	鉄筋露出	0.900 × 0.100	0.040	0.021	0.040	0.090	0.0036	0.090
D9	A1-A2	床版	うき	0.200 × 0.250	0.040	0.021	0.040	0.050	0.0020	0.050
D10	A1-A2	床版	鉄筋露出	0.150 × 0.300	0.040	0.021	0.040	0.045	0.0018	0.045
D11	A1-A2	床版	鉄筋露出	0.050 × 0.050	0.040	0.021	0.040	0.003	0.0001	0.003
D12	A1-A2	床版	鉄筋露出	0.200 × 0.200	0.040	0.021	0.040	0.040	0.0016	0.040
D13	A1-A2	床版	うき	0.050 × 0.050	0.040	0.021	0.040	0.003	0.0001	0.003
D14	A1-A2	床版	鉄筋露出	0.250 × 0.050	0.040	0.021	0.040	0.013	0.0005	0.013
D15	A1-A2	床版	豆板	0.350 × 0.100	0.040	0.021	0.040	0.035	0.0014	0.035
D16	A1-A2	床版	鉄筋露出	1.000 × 1.600	0.040	0.021	0.040	1.600	0.0640	1.600
下流側										
D17	A1-A2	床版	鉄筋露出	7.250 × 3.000	0.065	0.040	0.065	21.750	1.4138	21.750
D18	A1-A2	床版	鉄筋露出	0.300 × 3.600	0.065	0.040	0.065	1.080	0.0702	1.080
下部工										
D1	A1	A1橋台	うき	0.150 × 0.150	0.100	－	0.100	0.023	0.0023	0.023
D2	A1	A1橋台	豆板	0.650 × 0.400	0.030	－	0.030	0.260	0.0078	0.260
D3	A2	A2橋台	豆板	0.250 × 0.450	0.030	－	0.030	0.113	0.0034	0.113
D4	A2	A2橋台	豆板	0.250 × 0.800	0.030	－	0.030	0.200	0.0060	0.200
D5	A1	A1橋台	豆板	0.800 × 8.520	0.030	－	0.030	6.816	0.2045	6.816
D6	A1	A1橋台	豆板	0.200 × 8.220	0.050	－	0.050	1.644	0.0822	1.644
D7	A1	A1橋台	豆板	0.150 × 0.200	0.050	－	0.050	0.030	0.0015	0.030
D8	A2	A2橋台	豆板	0.800 × 8.520	0.030	－	0.030	6.816	0.2045	6.816
D9	A2	A2橋台	豆板	0.200 × 8.110	0.050	－	0.050	1.622	0.0811	1.622
D10	A2	A2橋台	豆板	0.150 × 0.320	0.050	－	0.050	0.048	0.0024	0.048
小計			上部工	上流側				2.722	0.1088	2.722
				下流側				22.830	1.4840	22.830
			下部工					17.572	0.5957	17.572
			合　計					43.124	2.1885	43.124

※はつり深さは，上流側床版でt=40mm，下流側床版でt=65mmと想定する。
※橋台におけるはつり深さはt=30mm（特記なきもの）と想定する。

2.表面含浸工

含浸材 : ケイ酸ナトリウム系含浸材（鉄筋防錆効果付与）
1回目＝0.15(L/m^2)
2回目＝0.10(L/m^2)

(1) 下地処理（高圧洗浄）

A ＝ 3.000 × 3.700 ＋ 0.300 × 1.900
＝ 11.670 m^2

(2) 表面含浸工（ケイ酸ナトリウム系表面含浸材）

A ＝ 11.670 ＝ 11.670 m^2

(3) 表面含浸材（補助工法：ストレングス剤相当品）

W ＝ 11.670 × 0.25 ＝ 2.918 L

(4) 表面含浸材（スーパーシールド相当品）

W ＝ 11.670 × 0.25 ＝ 2.918 L

(5) テスター設置（1組/20m2）

N ＝ 11.670 / 20 ＝ 1 組

3. 水切り設置工

水切り材：合成ゴム製（ウォーターカッター相当品）

(1) 水切り材（合成ゴム製:幅25㎜）

L ＝ 3.000 ＋ 3.000 ＋ 3.000 ＋ 3.000 ＝ 12.000 m

(2) 下地処理

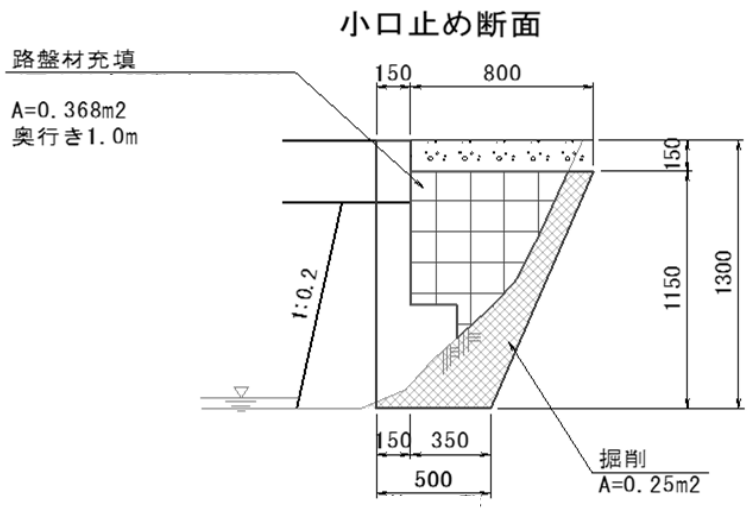
A ＝ 12.000 × 0.025 ＝ 0.300 m^2

(3) 接着剤塗布（エポキシ樹脂系接着剤）

A ＝ 12.000 × 0.025 ＝ 0.300 m^2

4. 橋台補修工

(1) 小口止め工



1) 作業土工（掘削，土砂）

V ＝ 0.25 × 0.300 ＝ 0.075 m^3

2) コンクリート工（σck=18N/mm2）

A ＝ 0.150 × 1.300
+(0.800 + 0.350)/ 2 × 1.150 ＝ 0.856 m^2

V ＝ 0.856 × 0.300 ＝ 0.257 m^3

3) 型枠工

・一般型枠，小構造物

A ＝ 0.856 + 0.300 × 1.300 + 0.368 ＝ 1.614 m^2

(2) モルタル充填工

1) 充填工（無収縮モルタル）

V ＝ 0.200 × 0.200 × 0.300
+ 0.150 × 3.450 × 0.400 ＝ 0.219 m^3

2) 型枠工（一般型枠，小構造物）

A ＝ 0.200 × 0.200 + 0.150 × 3.450 ＝ 0.558 m^2

5. 底張りコンクリート工

(1) 構造物とりこわし工

V ＝ (2.600 ＋ 2.480) / 2 × 0.300 × 10.950

＝ 8.344 m^3

(2) コンクリート殻（小構造物）

V ＝ ＝ 8.344 m^3

W ＝ 8.344 × 2.35 (t/m^3) ＝ 19.608 t

(3) 基面整正

A ＝ 2.480 × 10.950 ＝ 27.16 m^2

(4) コンクリート工（σck=18N/mm2）

・底張りコンクリート

V1 ＝ (2.600 ＋ 2.520) / 2 × 0.200 × 10.950

＝ 5.606 m^3

・捨コンクリート

V2 ＝ (2.520 ＋ 2.480) / 2 × 0.100 × 10.950

＝ 2.738 m^3

ΣV ＝ 8.344 m^3

6. 舗装打換え工
補修材：アスファルト舗装（密粒度アスファルト(20)）

(1) 舗装版切断工（アスファルト舗装，t=4cm想定）

L ＝ 8.977 ＋ 8.977 ＝ 17.954 m

(2) 舗装版破砕工（アスファルト舗装，t=15cm以下）

① 土工部（t=4cm想定）

a1 ＝ 1.800 × 8.977 ＝ 16.159 m^2
a2 ＝ 2.800 × 8.977 ＝ 25.136 m^2

A1 ＝ 16.159 ＋ 25.136 ＝ 41.295 m^2

② 橋梁部（t=10cm想定）

A2 ＝ 4.069 × 0.400 ＝ 1.628 m^2

③ 橋梁部（t=5cm想定）

A3 ＝ 4.069 × 6.350 ＝ 25.838 m^2

ΣA ＝ 68.761 m^2

(3) 土砂撤去

V ＝ 3.600 × 3.300 × 0.100
＋ 4.069 × 0.900 × 0.050 ＝ 1.371 m^3

(4) 路盤工
1) 路盤（車道・路肩部）

土工部 空洞部充填
V ＝ 0.368 × 1.000 ＝ 0.368 m^3
想定範囲 A ＝ 0.700 × 1.000 ＝ 0.700 m^2
想定厚 t ＝ 0.368 / 0.700 ＝ 0.526 m

① 上層路盤（RM-30）
t ＝ 0.150 ＝ 0.150 m
① 下層路盤（RC-30）
t ＝ 0.326 ＝ 0.326 m

(5) アスファルト舗装工

1) 基層（車道・路肩部）

① 橋梁部 上流側（粗粒度(20)　t=5cm　瀝青材無し）

A ＝　3.600　×　3.300　＋　4.069　×　0.400　＝　13.508　m^2

2) 表層（車道・路肩部）

① 橋梁部上流側（密粒度(20)　t=5cm　PK-4）

A ＝　13.508　＝　13.508　m^2

② 橋梁部下流側（密粒度(20)　t=5cm　瀝青材無し）

A ＝　4.069　×　7.250　＝　29.500　m^2

③ 土工部（密粒度(20)　t=4cm　PK-3）

A ＝　16.159　＋　25.136　＝　41.295　m^2

(6) アスファルト殻

V ＝　41.295　×　0.040　＋　1.628　×　0.100

＋　25.838　×　0.050　＝　3.107　m^3

W ＝　3.107　×　2.30　(t/m^3)　＝　7.15　t

7. 橋面防水工

補修材：塗膜系防水（アスファルト加熱型）

(1) 橋面防水
塗膜系アスファルト加熱型防水層

A ＝ 3.600 × 10.950 ＝ 39.420 m^2

(2) ドレーン材
排水用導水管（φ18）

L1 ＝ 3.483 × 4 ＋ 4.224 ＋ 4.283
＋ 8.450 × 2 ＝ 39.339 m

材料ロス

L2 ＝ 39.339 × 0.05 ＝ 1.967 m
ロス率5%

(3) 止水テープ
L型止水テープ

L ＝ 3.600 ＝ 3.600 m

(4) 床版用水抜きパイプ
塩ビ管（VP50）

N ＝ 5 ＝ 5 基

L ＝ 0.300 × 3 ＋ 0.350 × 2 ＝ 1.600 m

(5) 充填材（エポキシ樹脂系）

W1 ＝ ((0.070 ^2 － 0.060 ^2)× π/4)
× 0.250 × 1200 × 3 ＝ 0.919 kg

W2 ＝ ((0.070 ^2 － 0.060 ^2)× π/4)
× 0.300 × 1200 × 2 ＝ 0.735 kg

ΣW ＝ 1.654 kg

(6) コンクリート削孔工
φ70×250

N ＝ 3 ＝ 3 孔
L ＝ 0.250 × 3 ＝ 0.750 m

φ70×300

N ＝ 2 ＝ 2 孔
L ＝ 0.300 × 2 ＝ 0.600 m

ΣL ＝ 1.350 m

(7) コンクリート殻（無筋構造物）

V ＝ π/4 × 0.070 ^{2} ×(0.750 ＋ 0.600)
＝ 0.005 m^3

W ＝ 0.005 × 2.35 t/m^3 ＝ 0.012 t

8. 伸縮装置補修工

(1) 伸縮目地材(シール材：シリコーン#70相当品)
比重:1.3

施工長:L ＝ 12.850 × 2 ＋ 3.600 ＝ 29.300 m

Q ＝ 0.005 × 0.010 × 29.3 × 1.3 × 1000 ＝ 1.905 ℓ

(2) プライマー塗布

A ＝ 0.005 × 29.300 × 2 ＝ 0.293 m^2

(3) バックアップ材

L ＝ 12.850 × 2 ＋ 3.600 ＝ 29.300 m

(4) ボンドブレーカー

A ＝ 0.010 × 29.300 ＝ 0.293 m^2

(5) クラック抑制シート

L ＝ 12.850 × 2 ＋ 3.213 ＝ 28.913 m

9. 仮設工

(1) 掛樋工

1) 土のう工（小口並べ）

上流側	A1	＝	0.750	×	2.366	×	2	＝	3.55	m^2
下流側	A2	＝	0.750	×	2.366	×	2	＝	3.55	m^2
								ΣA ＝	7.10	m^2

2) 仮排水管（高密度ポリエチレン管φ350）

L	＝	1.200	＋	15.800	＝	17.000	m

作業日数計算表

工 種	種 別	規格・寸法	単位	数 量	日施工量	作業日数	警備員	吊足場工	朝顔	日施工量 出典先
断面修復工	断面修復工(湿式吹付)		m3	43.12	13.03	3.309		3.309	3.309	見積採用歩掛から 世話役が1になるよう割戻し
	コンクリート削孔	φ13mm 削孔深200㎜未満	孔	137	83	1.651		1.651	1.651	R5基Ⅰ P179
	鉄筋工	D10～13 一般構造物	t	0.01	0.8	0.013		0.013	0.013	R5基Ⅰ P179
	鉄筋工	D16～25 一般構造物	t	0.03	1.2	0.025		0.025	0.025	R5基Ⅰ P179
表面保護工	下地処理工	A＜100㎡	m2	11.67	25	0.467		0.467	0.467	見積採用歩掛から 世話役が1になるよう割戻し
	表面含浸工(ｽｰﾊﾟｰｼｰﾙﾄﾞ)	A＜100㎡	m2	11.67	66.7	0.175		0.175	0.175	見積採用歩掛から 世話役が1になるよう割戻し
	表面含浸工(ｽｰﾊﾟｰｼｰﾙﾄﾞ) ｽﾄﾚﾝｸﾞｽ剤塗布	A＜100㎡	m2	11.67	50	0.233		0.233	0.233	見積採用歩掛から 世話役が1になるよう割戻し
舗装工	舗装版切断	15cm以下	m	17.95	203	0.088	0.088			R8基Ⅰ-237
	舗装版破砕(障害無)	As舗装版 15cm以下	㎡	68.76	484	0.142	0.142			R8基Ⅰ-237
	掘削	土砂 小規模 標準以外	m3	1.45	15	0.097	0.097			
	土砂等運搬	土砂 小規模 0.13m3 DID無 3.0～3.5km	m3	1.45	11	0.132	0.132			
	橋面防水工	塗膜系 補修	㎡	39.42	170	0.232	0.232			R8基Ⅰ-290
	路盤工	車道・路肩部 下層路盤	㎡	0.7	830	0.001	0.001			R8基Ⅰ-227
	路盤工	車道・路肩部 上層路盤	㎡	0.7	830	0.001	0.001			R8基Ⅰ-227
	舗装工	基層 車道部 1.4＜W t＝7cm以上	㎡	13.51	940	0.014	0.014			R8基Ⅰ-227
	舗装工	表層 車道部 3.0＜W t＝7cm以下	㎡	84.31	2300	0.037	0.037			R8基Ⅰ-227
	クラック防止シート張		m	28.91	930	0.031	0.031			R8基Ⅰ-239
	水切工	接着剤固定 床版下面 作業車無し	m	33.8	90	0.376		0.376	0.376	土木コスト情報2026・4月 P618
橋面防水工	コンクリート削孔	φ70mm 削孔深200㎜～400mm	孔	5	9.2	0.543		0.543	0.543	R5基Ⅰ P179
底張コンクリートエ	構造物取壊し工	人力施工	m3	8	5.5	1.455		1.455	1.455	R8基VI-21
	基面整正		m2	27.16	50	0.543		0.543	0.543	
	コンクリート打設	バックホウ打設	m3	8.34	113	0.074		0.074	0.074	R5基Ⅰ P192
小口止工	掘削	片切掘削	m3	0.08	220	0.000		0.000	0.000	
	基面整正		m2	0.15	50	0.003		0.003	0.003	
	型枠	鉄筋・無筋	m2	1.614	38	0.042		0.042	0.042	R5基Ⅰ P194
	小口止工 コンクリート打設	バックホウ打設	m3	0.26	8	0.033		0.033	0.033	R5基Ⅰ P192
伸縮装置工	伸縮目地補修工		m	29.3	77	0.381		0.381	0.381	見積採用歩掛から 作業員が1になるよう割戻し
水替工	土のう工	仕拵え、積立、撤去	個	122	95	1.284	2.000	1.284	1.284	足場材料の積み下ろしの2日 間の計上とする
					計	11.4	3.0	10.6	10.6	
					警備員人数		6			
					足場供用日数			19	19	

0.6 0.6